

令和元年度 保土ヶ谷区 防災・地域福祉保健アンケート

調査結果報告書

令和元年 10 月

横浜市保土ヶ谷区役所

令和元年度 保土ヶ谷区 防災・地域福祉保健アンケート

目次

アンケート調査の概要	1
I. 回答者の属性	2
II. 調査結果	7
1. 防災について	7
2. 福祉・保健について	20

# 令和元年度 保土ヶ谷区 防災・地域福祉保健アンケート

## アンケート調査の概要

### (1) 仕様

- ・調査地域 保土ヶ谷区内全域
- ・調査対象 区内に居住する18歳以上の男女4,000人（外国籍含む、無作為抽出）
- ・抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- ・調査方法 調査票の郵送（配布・回収）による自記入形式
- ・調査期間 令和元年5月31日～6月28日
- ・回収結果 有効回答者数1,794人、有効回答率44.9%

### (2) 構成

前回調査（H27.1実施）から継続して質問する項目と、行政課題に対して区民意識を確認する必要から新たに設定した質問で構成。

- ・防災に関する質問 13問、福祉保健に関する質問 17問、及び回答者の属性

### ◆集計結果の見方

- ① 図（グラフ）の中で使用されているアルファベットNは、その設問に対する回答者数を表す。
- ② 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

### ※概要数値の見方

数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は回答数を基本としている。

（N=1,794）

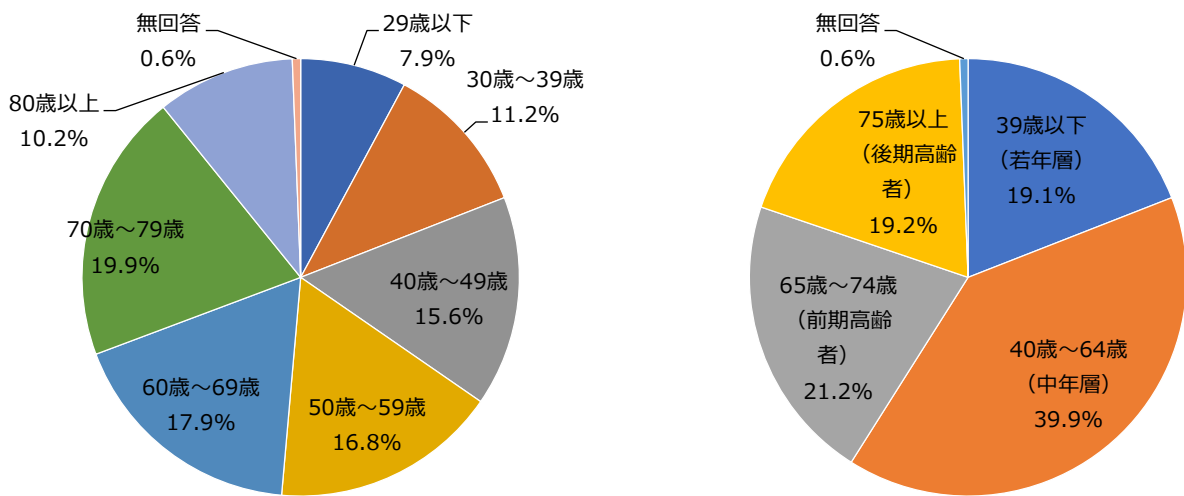
### ※クロス集計表の見方

集計表の中の横向きの柱状グラフは、そのマスの中の比率に応じた長さとなっている。またその表中の最大値が、マスいっぱいの長さとなる。

## I. 回答者の属性

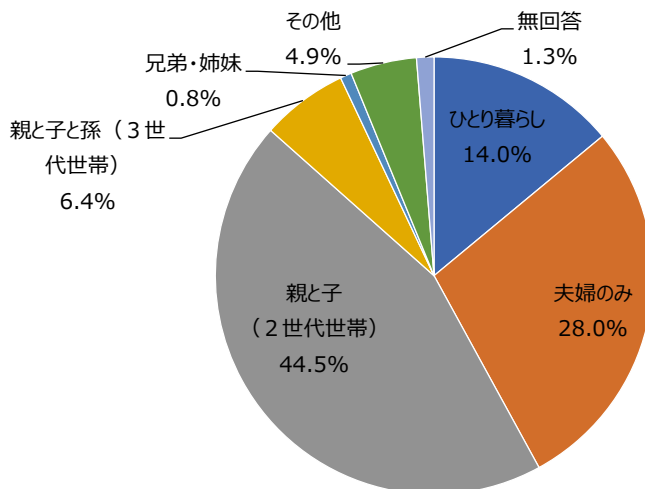
### 年齢（F 1）

- ・「70歳代」が19.9%と最も多く、次いで「60歳代」が17.9%、「50歳代」が16.8%と続く。
- ・年齢層別でみると、40歳～64歳の中年層が39.9%と最も多く、次いで65歳～74歳の前期高齢者が21.2%、39歳以下の若年層と75歳以上の後期高齢者がそれぞれ19.1%、19.2%となっている。しかし各年齢層に含まれる年齢数の大小の影響を考慮した場合、65歳～74歳の前期高齢者の割合が最も多く、次いで中年層、後期高齢者という順になり、若年層の割合が最も低くなる。



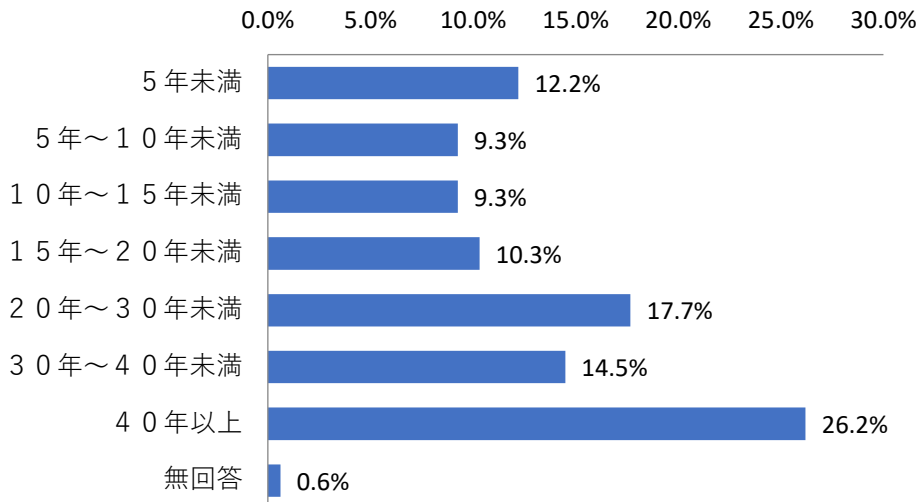
### 家族構成（F 2）

- ・親と子の2世代世帯が44.5%と半数近くを占めている。次に多いのが夫婦のみ世帯の28.0%であり、ひとり暮らしの世帯は14.0%と比較的少ない。以降、親と子と孫の3世代世帯（6.4%）、兄弟・姉妹（0.8%）と続く。



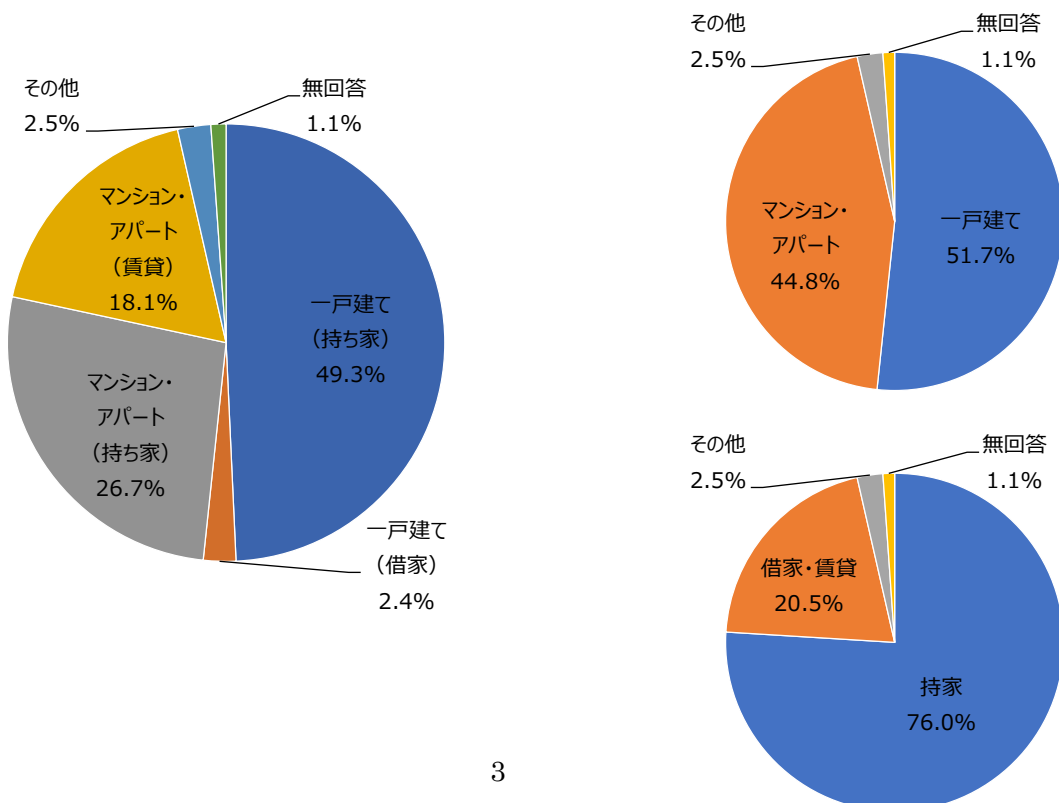
### 居住年数（F 3）

- ・「40年以上」が最も多く26.2%であり、次いで「20年～30年未満」の17.7%、「30年～40年未満」の14.5%となっており、20年以上の居住者が半数以上を占めている。居住年数の長い居住者が多いと言える。
- ・居住年数20年未満の中では、「5年未満」が12.2%と少し割合が多くなっており、居住年数の短い居住者はあまり居つくことがなく流動性が高くなっている可能性がある。



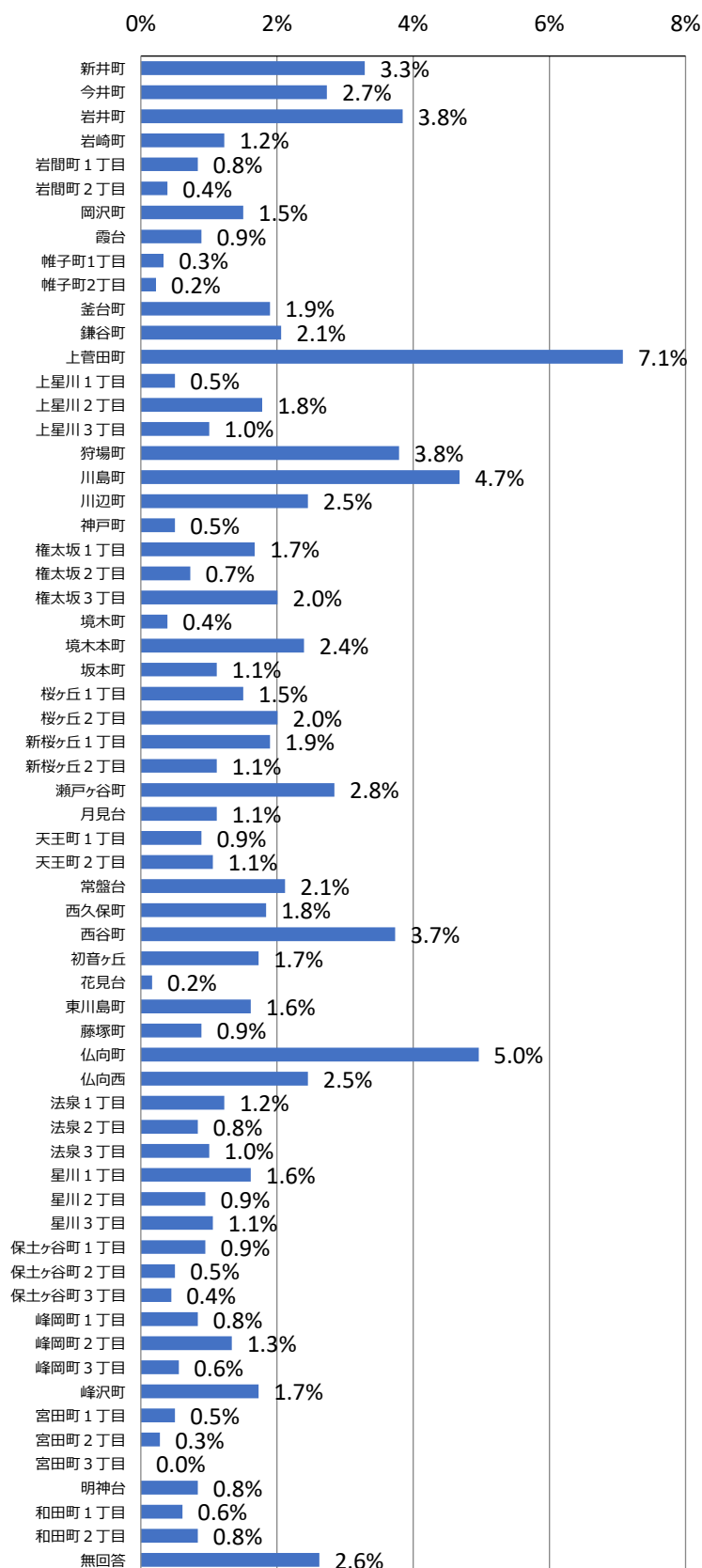
### 居住形態（F 4）

- ・一戸建て（持家）が49.3%と約半数を占めている。マンション・アパート（持家）が26.7%、マンション・アパート（賃貸）が18.1%であり、一戸建て（借家）は2.4%と非常に少ない。
- ・一戸建ての合計とマンション・アパートの合計の割合はほぼ半々である。
- ・持家の合計が76.0%、借家・賃貸の合計が20.5%となっており、持家の割合は高い。



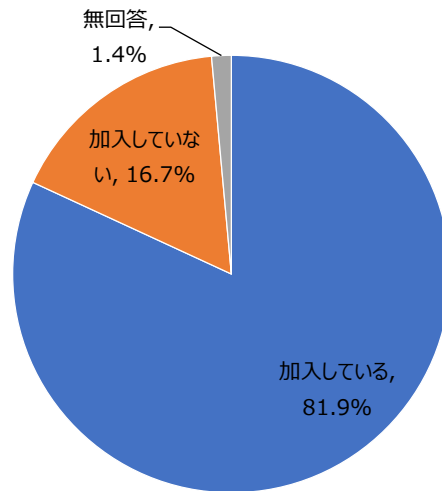
## 居住地域（F5）

・割合が多かったのは、上菅田町（7.1%）、仏向町（5.0%）、川島町（4.7%）等であった。



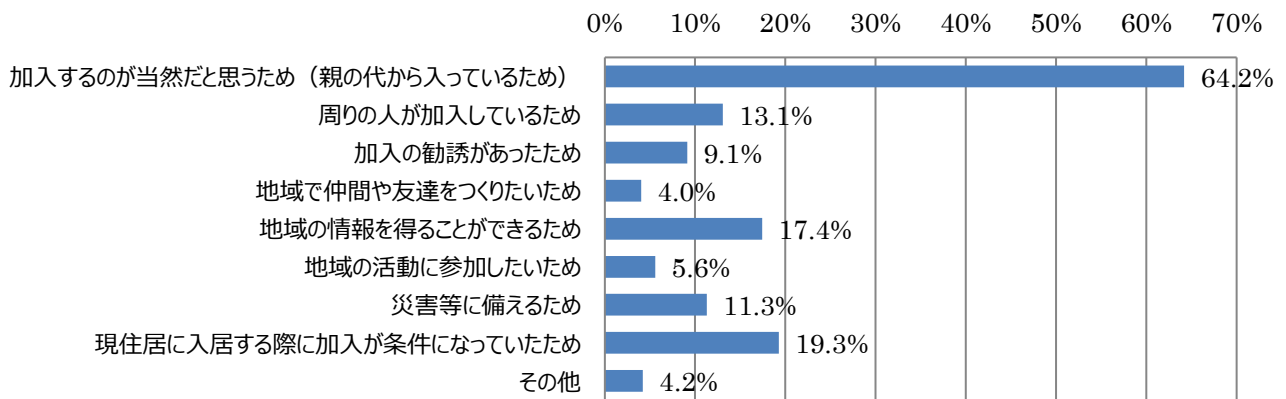
### 自治会町内会への加入（F 6）

・「加入している」が 81.9%、「加入していない」が 16.7%である。



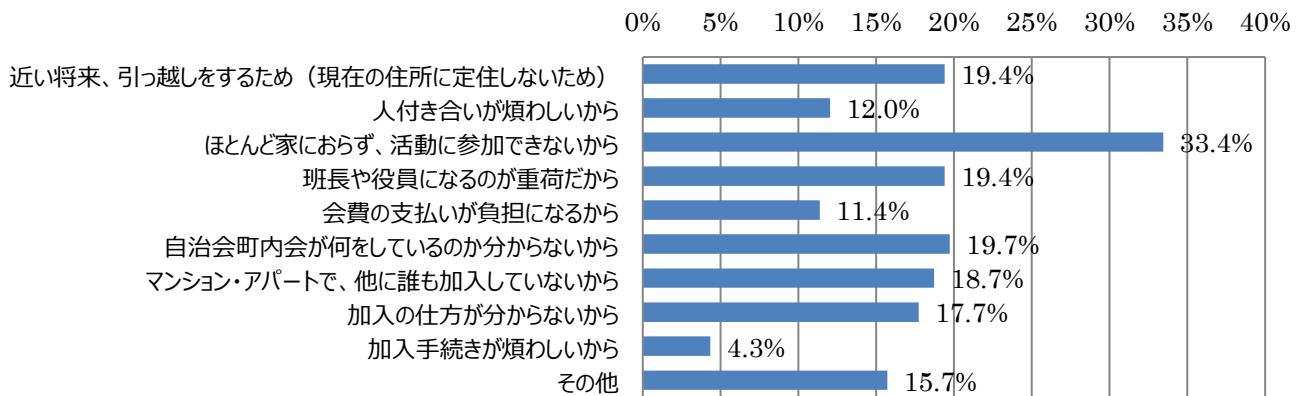
### 自治会町内会に加入した理由（F 7）

- ・「加入するのが当然だと思うため（親の代から入っているため）」が 64.2%と最も多い。
- ・他には「現住居に入居する際に加入が条件になっていたため」が 19.3%、「地域の情報を得ることができるため」が 17.4%と多い。次いで「周りの人が加入しているため」の 13.1%、「災害等に備えるため」の 11.3%となる。



### 自治会町内会に未加入の理由（F8）

- ・「ほとんど家におらず、活動に参加できないから」が33.4%と最も多い回答となった。
- ・他には、「近い将来引っ越しをするため」「班長や役員になるのが重荷だから」「自治会町内会が何をしているのか分からないから」「マンション・アパートで、他に誰も加入していないから」「加入の仕方が分からないから」がそれぞれ約2割程度で続いている。



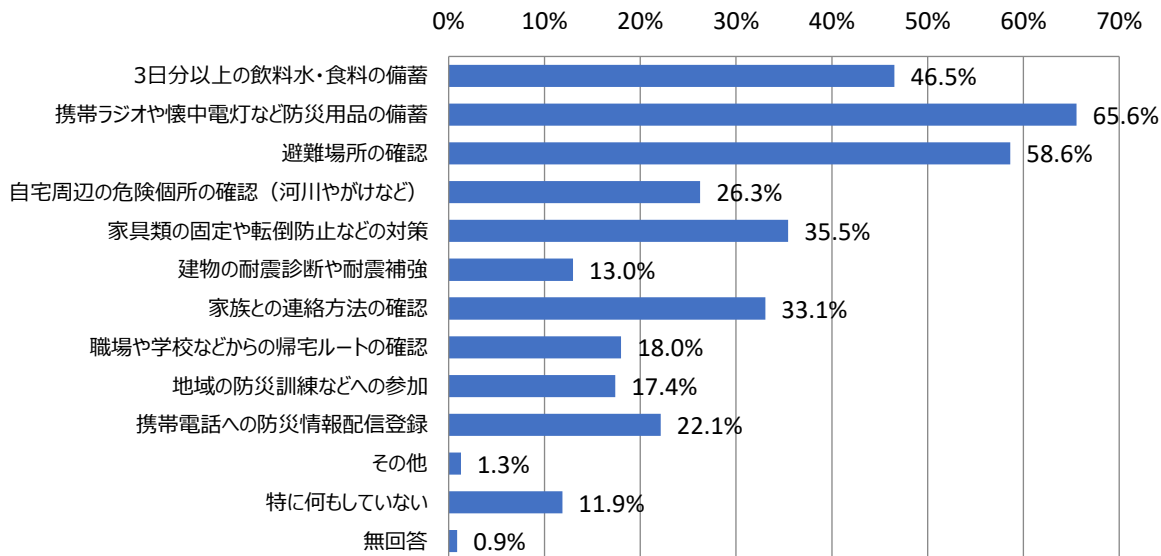


## Ⅱ. 調査結果

### 1. 防災について

#### 問1 災害に備えて準備をしていること・・・(〇はいくつでも)

- ・「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の備蓄」が65.6%、「避難場所の確認」が58.6%、「3日以上の飲料水・食糧の備蓄」が46.5%となっており、この3つの回答率が高かった。
- ・「建物の耐震診断や耐震補強」が13.0%、「地域の防災訓練などへの参加」が17.4%、「職場や学校などからの帰宅ルートの確認」が18.0%と、比較的低い回答率となっている。



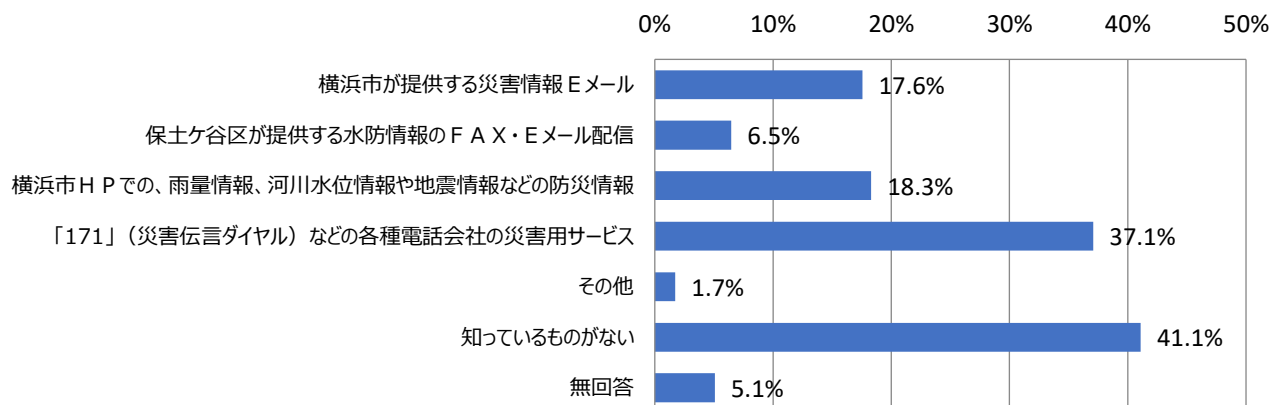
#### ■年齢別 災害に備えて準備していること

- ・回答率の高い項目（水・食糧の備蓄、防災用品の備蓄、避難場所の確認）でも、若年層ほど回答率が低く、高齢になるほど回答率が高い傾向がみられた。
- ・帰宅ルートの確認や防災情報配信登録については、若年～中年層の回答率が高齢層よりも高く、上記とは逆の傾向を示した。

		問1 災害に備えて準備していること（複数回答可）												
		3日以上の飲料水・食料の備蓄	携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の備蓄	避難場所の確認	自宅周辺の危険個所の確認 (河川やがけなど)	家具類の固定や転倒防止などの対策	建物の耐震診断や耐震補強	家族との連絡方法の確認	職場や学校などからの帰宅ルートの確認	地域の防災訓練などへの参加	携帯電話への防災情報配信登録	その他	特に何もしていない	無回答
全体	1,794	46.5%	65.6%	58.6%	26.3%	35.5%	13.0%	33.1%	18.0%	17.4%	22.1%	1.3%	11.9%	0.9%
F1 年齢 (10歳刻み)														
29歳以下	141	27.0%	31.9%	41.1%	17.7%	23.4%	4.3%	29.8%	22.7%	2.8%	12.8%	0.7%	28.4%	0.7%
30歳～39歳	201	38.8%	53.2%	55.2%	24.4%	23.4%	10.9%	27.4%	26.9%	7.0%	24.4%	2.5%	14.4%	1.0%
40歳～49歳	279	37.6%	57.0%	53.0%	22.6%	33.7%	10.0%	34.8%	30.5%	14.0%	27.6%	1.4%	13.3%	0.0%
50歳～59歳	301	45.8%	68.1%	60.1%	26.2%	40.2%	12.3%	28.9%	22.9%	14.3%	30.9%	0.7%	6.6%	0.0%
60歳～69歳	321	49.5%	76.6%	60.1%	24.9%	37.4%	13.1%	30.8%	13.7%	18.4%	21.5%	0.9%	9.0%	0.3%
70歳～79歳	357	60.5%	76.5%	69.2%	33.3%	40.9%	18.2%	39.5%	9.0%	29.4%	18.2%	1.4%	8.4%	1.4%
80歳以上	183	54.1%	75.4%	61.7%	29.5%	36.1%	18.0%	38.3%	3.8%	25.7%	14.2%	1.6%	15.3%	1.1%

問2 保土ヶ谷区や横浜市などが実施する防災事業の認知（〇はいくつでも）

- ・最も多かった回答は「知っているものがない」の41.1%であった。
- ・認知されている防災事業の中では、「各種電話会社の災害用サービス」が37.1%と多かった。
- ・「保土ヶ谷区が提供するFAX・Eメール配信」の認知度は6.5%と低くなっている。



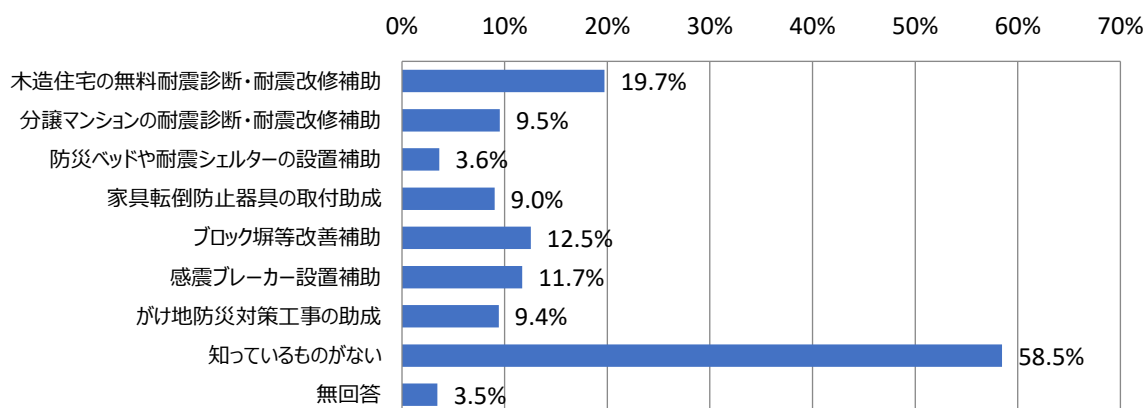
■年齢別 保土ヶ谷区や横浜市などが実施する防災事業の認知

- ・年齢別の認知度については、どの事業についても29歳以下や30歳代の若年層と70歳代、80歳以上の高齢者の認知度が比較的低く、40歳代、50歳代の中年層の認知度が高くなっている。
- ・「知っているものがない」の割合も、若年層と高齢者で高くなっている。

		問2 保土ヶ谷区や横浜市などが実施する防災事業の認知（複数回答可）							
合計		横浜市が提供する災害情報Eメール	保土ヶ谷区が提供する水防情報のFAX・Eメール配信	横浜市HPでの、雨量情報、河川水位情報や地震情報などの防災情報	「171」(災害伝言ダイヤル)などの各種電話会社の災害用サービス	その他	知っているものがない	無回答	
全体	1,794	17.6%	6.5%	18.3%	37.1%	1.7%	41.1%	5.1%	
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	8.5%	1.4%	14.2%	36.9%	0.0%	50.4%	1.4%
	30歳～39歳	201	16.4%	3.5%	20.9%	37.3%	0.5%	46.3%	1.0%
	40歳～49歳	279	20.4%	5.0%	18.6%	42.3%	1.1%	36.6%	1.8%
	50歳～59歳	301	23.3%	8.3%	20.6%	46.5%	1.0%	34.2%	2.0%
	60歳～69歳	321	18.7%	8.1%	20.2%	38.0%	1.2%	40.8%	2.8%
	70歳～79歳	357	18.2%	9.5%	16.0%	33.3%	3.6%	39.8%	9.5%
	80歳以上	183	9.8%	4.4%	16.4%	20.8%	3.8%	48.6%	15.8%

### 問3 保土ヶ谷区や横浜市が行っている減災のための事業の認知（〇はいくつでも）

- ・事業の中では「木造住宅の無料耐震診断・耐震改修補助」が19.7%と高い。一方、「防災ベッドや耐震シェルターの設置補助」は3.6%と認知度が低い。



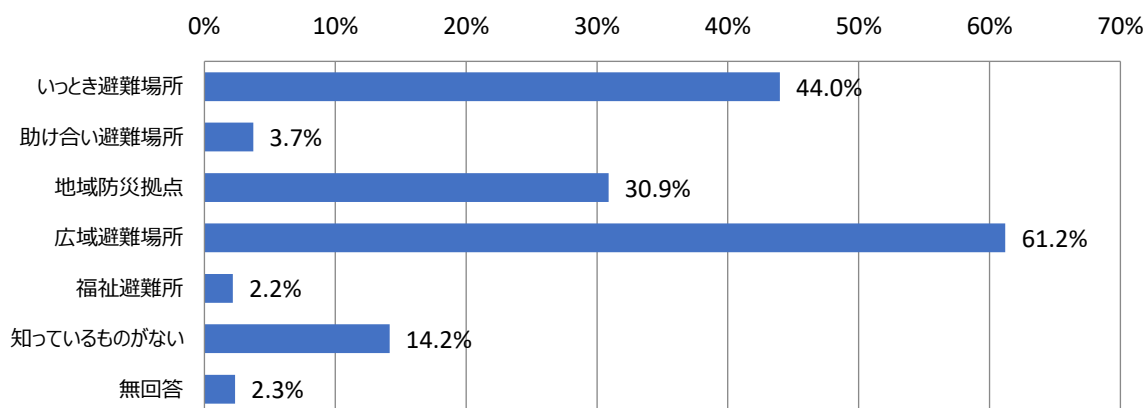
### ■年齢別 保土ヶ谷区や横浜市が行っている減災のための事業の認知

- ・どの事業についても、若年層ほど認知度が低く、高齢になるほど認知度が高い傾向にある。
- ・「知っているものがない」については、若年層ほどその割合が高い。

		問3 保土ヶ谷区や横浜市が行っている減災のための事業の認知（複数回答可）									
		合計	木造住宅の無料耐震診断・耐震改修補助	分譲マンションの耐震診断・耐震改修補助	防災ベッドや耐震シェルターの設置補助	家具転倒防止器具の取付助成	ブロック塀等改善補助	感震ブレイカー設置補助	がけ地防災対策工事の助成	知っているものがない	無回答
全体		1,794	19.7%	9.5%	3.6%	9.0%	12.5%	11.7%	9.4%	58.5%	3.5%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	6.4%	5.7%	1.4%	3.5%	4.3%	1.4%	5.0%	83.0%	0.7%
	30歳～39歳	201	4.5%	4.5%	2.0%	3.0%	6.5%	6.0%	3.5%	79.6%	0.5%
	40歳～49歳	279	13.3%	4.3%	2.5%	3.2%	7.9%	8.6%	7.2%	69.9%	1.1%
	50歳～59歳	301	19.6%	6.6%	2.3%	7.6%	9.3%	11.0%	7.0%	61.8%	2.3%
	60歳～69歳	321	24.3%	11.5%	4.0%	10.0%	16.2%	14.0%	13.7%	58.9%	1.2%
	70歳～79歳	357	30.5%	16.8%	6.4%	14.6%	20.2%	17.4%	14.6%	37.8%	6.4%
	80歳以上	183	28.4%	13.7%	4.9%	19.1%	17.5%	17.5%	9.8%	42.6%	9.8%

#### 問4 震災時の避難場所の認知（〇はいくつでも）

- ・「広域避難場所」が61.2%と最も高く、「いつとき避難場所」が44.0%でそれに次いで認知度が高い。
- ・「助け合い避難場所」は3.7%、「福祉避難場所」が2.2%と認知度が非常に低かった。



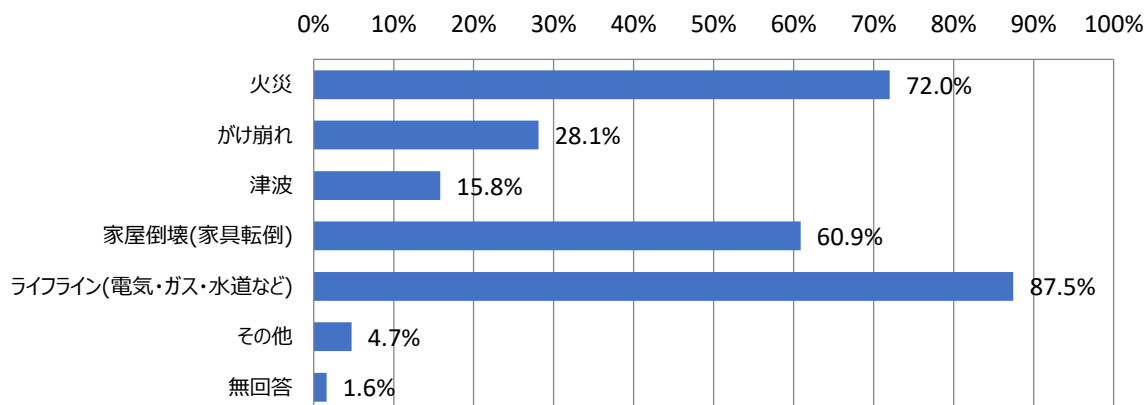
#### ■年齢別 震災時の避難場所の認知

- ・「いつとき避難場所」は高齢者以外への認知度が比較的低い。
- ・「地域防災拠点」については30歳代～50歳代の中年層への認知度が比較的低い。
- ・「広域避難場所」は特に29歳以下の若年層への認知度が比較的低い。
- ・「知っているものがない」割合は、若年層で高く、年齢が上がるにつれ減っていく傾向がある。

		合計	問4 震災時の避難場所の認知（複数回答可）						知っているものがない	無回答
			いつとき避難場所	助け合い避難場所	地域防災拠点	広域避難場所	福祉避難所			
全体		1,794	44.0%	3.7%	30.9%	61.2%	2.2%	14.2%	2.3%	
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	39.0%	0.7%	29.1%	44.0%	4.3%	26.2%	0.0%	
	30歳～39歳	201	39.3%	3.0%	25.4%	53.7%	1.5%	21.4%	1.0%	
	40歳～49歳	279	38.4%	3.2%	26.2%	61.3%	1.1%	16.8%	0.0%	
	50歳～59歳	301	39.5%	1.3%	28.6%	70.4%	2.3%	11.6%	2.3%	
	60歳～69歳	321	42.7%	5.0%	33.6%	68.5%	2.2%	10.6%	1.2%	
	70歳～79歳	357	52.7%	4.5%	37.0%	60.2%	2.5%	9.0%	3.6%	
	80歳以上	183	56.3%	8.2%	33.9%	58.5%	2.2%	12.6%	6.0%	

問5 大地震による被害として不安なもの（〇はいくつでも）

・「ライフライン（電気・ガス・水道など）」が 87.5%と最も高く、次いで「火災」の 72.0%、「家屋倒壊（家具転倒）」の 60.9%が高い割合となっている。



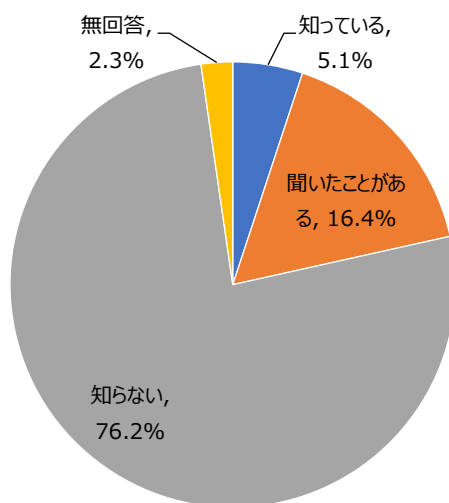
■年齢別 大地震による被害として不安なもの

- ・「火災」については、高齢者ほど割合が高くなっている。
- ・「がけ崩れ」「津波」については、29歳以下、30歳代の若い世代の割合が高い。
- ・「家屋倒壊（家具転倒）」、「ライフライン」については、世代による差はそれほどない。

		問5 大地震による被害として不安なもの（複数回答可）							
		合計	火災	がけ崩れ	津波	家屋倒壊（家具転倒）	ライフライン	その他	無回答
全体		1,794	72.0%	28.1%	15.8%	60.9%	87.5%	4.7%	1.6%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	61.7%	31.2%	27.7%	60.3%	88.7%	5.7%	0.0%
	30歳～39歳	201	67.7%	42.3%	23.9%	65.2%	90.5%	9.0%	1.0%
	40歳～49歳	279	70.3%	25.8%	16.5%	60.6%	86.4%	7.9%	0.4%
	50歳～59歳	301	70.4%	28.2%	16.3%	62.1%	86.0%	4.0%	1.0%
	60歳～69歳	321	74.1%	29.6%	12.5%	60.1%	89.4%	1.9%	1.2%
	70歳～79歳	357	75.1%	23.8%	13.7%	60.5%	88.2%	3.6%	2.0%
	80歳以上	183	80.9%	20.2%	6.6%	57.9%	84.7%	2.7%	4.4%

問6 保土ヶ谷区「20万区民の自助・共助による減災運動」の認知（〇はひとつだけ）

・「知らない」が76.2%となっている一方、明確に「知っている」という回答は5.1%となっており、区民の認知度は低いと言える。



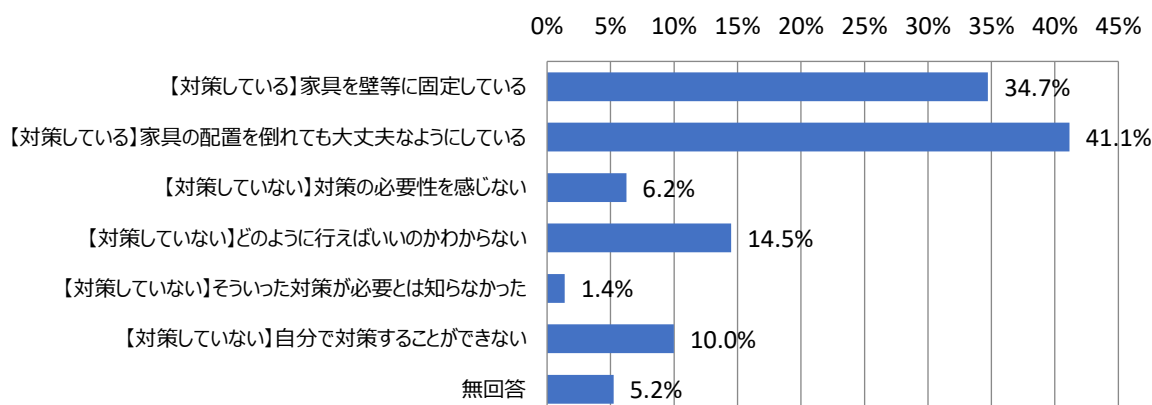
■年齢別 保土ヶ谷区「20万区民の自助・共助による減災運動」の認知

・年齢が低いほど認知度が低く、年齢が上がるほど認知度が高い傾向が認められる。

		問6 保土ヶ谷区「20万区民の自助・共助による減災運動」の認知（単一回答）				
		合計	知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
全体		1,794	5.1%	16.4%	76.2%	2.3%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	1.4%	5.7%	92.9%	0.0%
	30歳～39歳	201	2.0%	8.0%	88.6%	1.5%
	40歳～49歳	279	3.9%	11.8%	83.9%	0.4%
	50歳～59歳	301	2.7%	15.6%	81.1%	0.7%
	60歳～69歳	321	4.4%	19.6%	74.5%	1.6%
	70歳～79歳	357	10.4%	24.1%	61.3%	4.2%
	80歳以上	183	8.2%	23.0%	62.8%	6.0%

### 問7 「家具転倒防止」対策について（〇はいくつでも）

- ・「家具を壁等に固定している」が34.7%、「家具の配置を倒れても大丈夫なようにしている」が41.1%と、何らかの対策をしている回答の割合が高い結果となった。
- ・対策をしていない回答の中では、「対策の必要性を感じない」が6.2%、「そういった対策が必要とは知らなかった」が1.4%と低く、「どのように行えばいいのかわからない」14.5%、「自分で対策することができない」10.0%のように、必要性は感じているができないという回答の割合が比較的高かった。



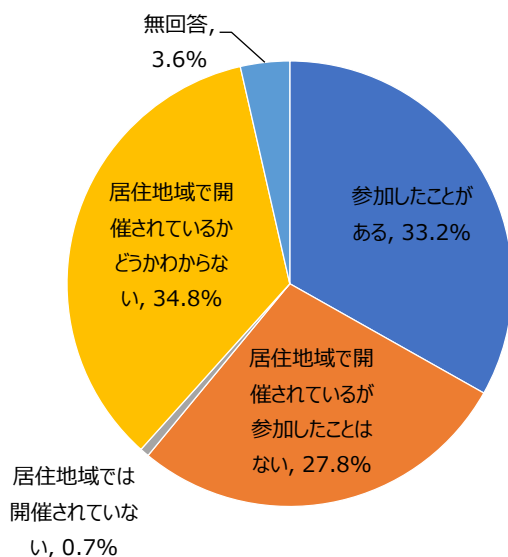
### ■年齢別 「家具転倒防止」対策について

- ・対策をしている回答の中では、「家具を壁等に固定している」は30歳代で最も低いが、「家具の配置を倒れても大丈夫なようにしている」は逆に30歳代で最も高く、状況に応じて可能な手段で対策をしていることが考えられる。
- ・対策をしていない回答の中では、「どのように行えばいいのかわからない」が若年層ほど高い傾向があり、「自分で対策することができない」は逆に高齢者ほど高い傾向がある。前者は防災知識の不足や、後者は回答者の体力的な問題も関係することが考えられる。

		問7 「家具転倒防止」対策について（複数回答可）								
		合計	家具を壁等に固定している	家具の配置を倒れても大丈夫なようにしている	対策の必要性を感じない	どのように行えばいいのかわからない	そういった対策が必要とは知らなかった	自分で対策することができない	無回答	
全体		1,794	34.7%	41.1%	6.2%	14.5%	1.4%	10.0%	5.2%	
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	29.8%	35.5%	4.3%	29.1%	1.4%	9.9%	0.0%	
	30歳～39歳	201	24.9%	48.3%	5.5%	24.9%	1.5%	3.5%	2.5%	
	40歳～49歳	279	31.2%	44.8%	9.7%	15.1%	1.4%	5.4%	2.9%	
	50歳～59歳	301	39.2%	39.9%	5.3%	13.6%	0.7%	7.6%	4.0%	
	60歳～69歳	321	35.8%	41.7%	4.7%	10.0%	1.9%	9.7%	5.3%	
	70歳～79歳	357	39.5%	41.2%	8.4%	9.2%	0.8%	12.9%	7.6%	
	80歳以上	183	37.2%	33.9%	3.8%	9.8%	2.7%	23.0%	11.5%	

問8 自治会・町内会など地域が取り組む防災講習会について（〇は一つだけ）

- ・「参加したことがある」は33.2%で、「居住地域で開催されているが参加したことはない」が27.8%となっている。合計すると、地域の防災講習会の存在を知っている回答者の割合は約60%であり、そのうちの半数が参加していることになる。
- ・一方、「居住地域で開催されているかどうかわからない」という回答も34.8%あり、この層への周知を進められれば、防災講習会への参加率は更に増加が見込めると思われる。



■年齢別 自治会・町内会など地域が取り組む防災講習会について

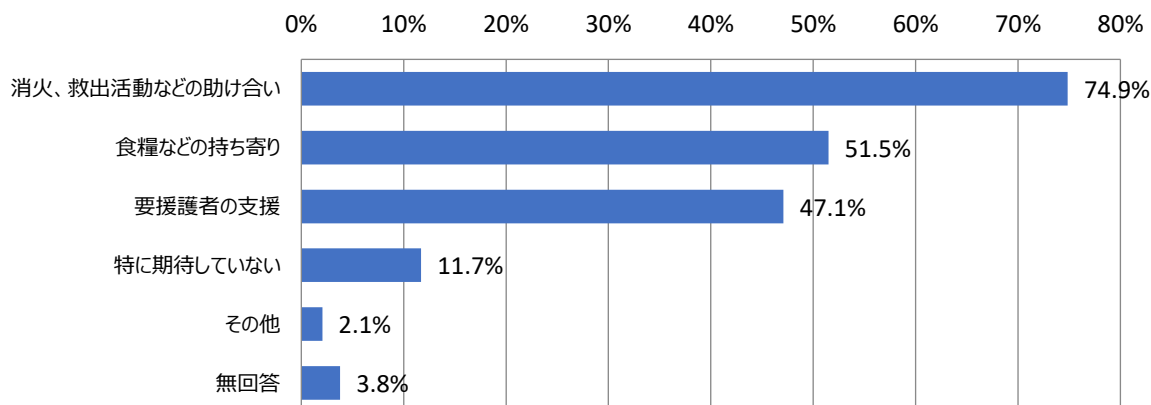
- ・「参加したことがある」回答は、年齢が若いほど回答率が大幅に低くなっている。
- ・「居住地域で開催しているかどうかわからない」回答は、年齢が低いほど回答率が大幅に高くなっており、若年層への周知が進んでいないことがわかる。
- ・「居住地域で開催されているが参加したことはない」回答は、30歳代～60歳代で比較的割合が高く、29歳以下は割合が低い。若年層は、周知が進めば参加者が増加する余地が多いといえる。

		問8 自治体・町内会など地域が取り組む防災講習会について（単一回答）					
		合計	参加したことがある	居住地域で開催されているが参加したことはない	開催居住地域ではない	居住地域で開催しているかどうかわからない	無回答
全体		1,794	33.2%	27.8%	0.7%	34.8%	3.6%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	7.8%	19.1%	0.0%	70.9%	2.1%
	30歳～39歳	201	13.4%	30.3%	0.0%	54.2%	2.0%
	40歳～49歳	279	26.5%	33.3%	0.7%	38.4%	1.1%
	50歳～59歳	301	33.2%	31.6%	1.0%	32.9%	1.3%
	60歳～69歳	321	42.4%	30.2%	0.9%	24.0%	2.5%
	70歳～79歳	357	47.6%	23.0%	0.8%	22.4%	6.2%
	80歳以上	183	41.0%	22.4%	0.5%	27.3%	8.7%



### 問9 災害時、隣近所など地域に期待すること（〇はいくつでも）

- ・「消火、救助活動などの助け合い」が74.9%と最も高い。
- ・また「食糧などの持ち寄り」「要援護者の支援」なども半数近くの回答者が期待すると回答しており、災害時に近隣地域の助け合いを期待する割合は総じて高いと言える。



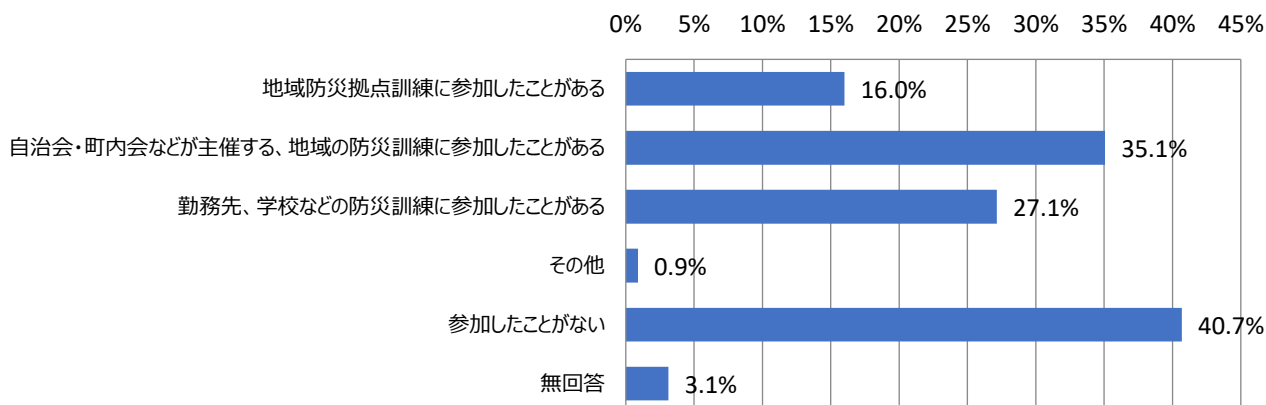
### ■年齢別 災害時、隣近所など地域に期待すること

- ・明確な年齢別の傾向や読み取れる差は少ないが、29歳以下の層と80歳以上の高齢者では地域の支援のうち「消火、救助活動などの助け合い」については、他の年齢層に比べ期待している人が少ない傾向がみられる。

		合計	問9 災害時、隣近所など地域に期待すること（複数回答可）					
			消火、救助活動などの助け合い	食糧などの持ち寄り	要援護者の支援	特に期待していない	その他	無回答
全体		1,794	74.9%	51.5%	47.1%	11.7%	2.1%	3.8%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	68.1%	48.9%	38.3%	15.6%	0.7%	0.0%
	30歳～39歳	201	78.6%	61.2%	48.3%	10.0%	2.5%	1.0%
	40歳～49歳	279	73.8%	52.0%	44.8%	14.3%	3.2%	1.4%
	50歳～59歳	301	78.4%	46.2%	46.8%	12.0%	3.0%	1.7%
	60歳～69歳	321	79.1%	54.2%	51.1%	10.3%	1.2%	1.9%
	70歳～79歳	357	76.8%	55.7%	49.6%	9.5%	1.1%	7.0%
	80歳以上	183	62.8%	40.4%	46.4%	12.6%	2.7%	11.5%

問10 地域防災拠点や各地域で行われる防災訓練への参加の有無（〇はいくつでも）

- ・参加したことがあるという回答の中では、「自治会・町内会などが主催」が35.1%と最も多く、次いで「勤務先、学校など」が27.1%、「地域防災拠点」が16.0%となっている。
- ・一方、「参加したことがない」との回答が最も多く40.7%であった。



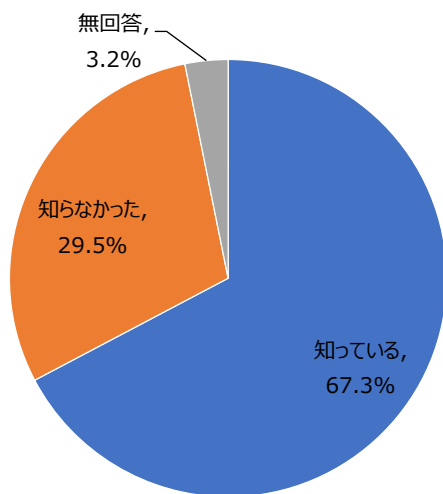
■年齢別 地域防災拠点や各地域で行われる防災訓練への参加の有無

- ・「参加したことがない」は29歳以下と30歳代で比較的割合が高く、50歳代～80歳以上の年代に比べ訓練への参加率が低い。
- ・「地域防災拠点訓練」への参加率は、年齢が高いほど高い傾向がある。
- ・「自治会・町内会などが主催」の訓練への参加率は、50歳代以上の参加率が比較的高い一方、40歳代以下の層では年齢が若いほど大きく参加率が減少する傾向がある。
- ・29歳以下の層は「勤務先、学校など」の訓練への参加率が高い。

		問10 地域防災拠点や各地域で行われる防災訓練への参加の有無（複数回答可）					
合計		地域防災拠点訓練に参加したことがある	自治会・町内会などが主催する、地域の防災訓練に参加したことがある	勤務先、学校などの防災訓練に参加したことがある	その他	参加したことがない	無回答
全体	1,794	16.0%	35.1%	27.1%	0.9%	40.7%	3.1%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	2.8%	5.7%	46.1%	0.0%	48.9%	0.0%
	30歳～39歳	6.0%	16.4%	33.8%	0.0%	56.2%	1.0%
	40歳～49歳	8.6%	24.7%	36.9%	1.1%	45.5%	0.7%
	50歳～59歳	12.3%	40.9%	34.9%	1.0%	35.5%	1.3%
	60歳～69歳	17.1%	46.1%	29.6%	0.9%	34.6%	1.6%
	70歳～79歳	30.3%	46.2%	10.9%	1.1%	36.4%	6.2%
	80歳以上	25.7%	44.3%	6.6%	1.6%	37.7%	8.7%

問11 「通電火災」の認知（○は一つだけ）

・「知っている」が67.3%と、約3分の2の回答者が「通電火災」について認知している。



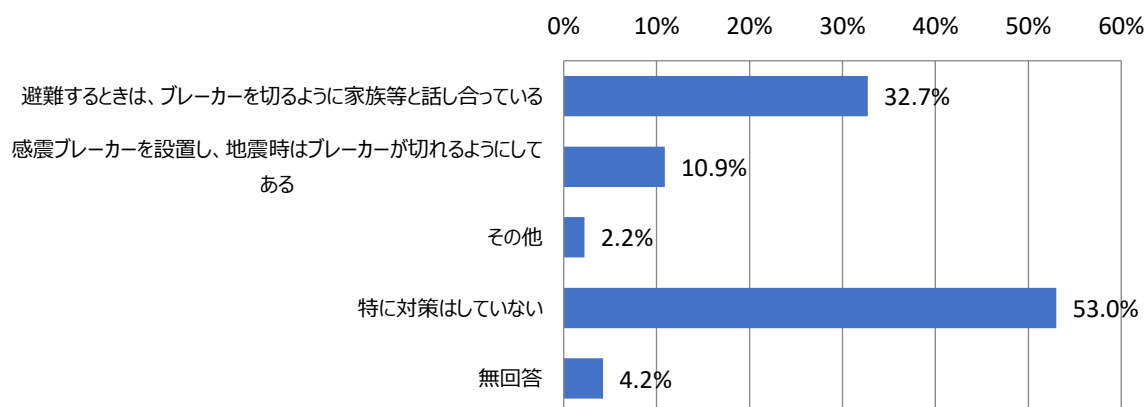
■年齢別 「通電火災」の認知

・49歳以下の年齢層では、「通電火災」について知らない回答者が多い。若年層への有効な防災情報の提供手段・メディアの検討が求められる。

		合計	問11 「通電火災」の認知（単一回答）		
			知っている	知らなかった	無回答
全体		1,794	67.3%	29.5%	3.2%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	51.1%	48.9%	0.0%
	30歳～39歳	201	58.7%	41.3%	0.0%
	40歳～49歳	279	62.0%	36.9%	1.1%
	50歳～59歳	301	74.8%	23.9%	1.3%
	60歳～69歳	321	77.6%	20.9%	1.6%
	70歳～79歳	357	69.5%	23.5%	7.0%
	80歳以上	183	65.6%	25.7%	8.7%

問12 「通電火災」を防ぐための対策について（〇はいくつでも）

- ・対策としては、「避難するときは、ブレーカーを切るように家族等と話し合っている」が32.7%であり、「感震ブレーカーを設置し、地震時はブレーカーが切れるようにしてある」との回答は10.9%にとどまっている。
- ・「特に対策はしていない」が53.0%と2人に1人しか対策をしていない状況にある。



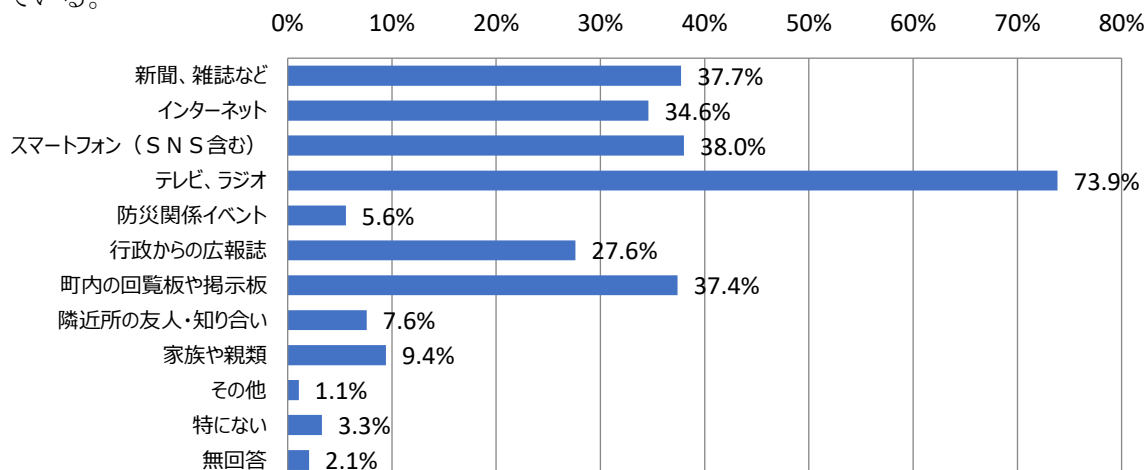
■年齢別 「通電火災」を防ぐための対策について

- ・「特に対策はしていない」という回答は、29歳以下の若年層で特に多く74.5%となる。30歳代、40歳代も60%を超える一方、70歳代、80歳以上では30%台と高齢者ほど対策をする傾向がある。
- ・「避難する時にブレーカーを切るように家族等と話し合っている」は若年層ほど回答率が下がる傾向にある。

		問12 「通電火災」を防ぐための対策について（複数回答可）					
合計		避難するときは、ブレーカーを切るように家族等と話し合っている	感震ブレーカーを設置し、地震時はブレーカーが切れるようにしてある	その他	特に対策はしていない	無回答	
全体	1,794	32.7%	10.9%	2.2%	53.0%	4.2%	
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	22.7%	4.3%	0.7%	74.5%	0.0%
	30歳～39歳	201	23.4%	11.9%	2.5%	62.7%	1.0%
	40歳～49歳	279	26.9%	7.9%	2.2%	63.4%	1.4%
	50歳～59歳	301	30.2%	9.0%	2.3%	58.5%	2.0%
	60歳～69歳	321	34.9%	9.0%	3.1%	53.3%	2.8%
	70歳～79歳	357	40.9%	15.1%	1.7%	37.0%	8.7%
	80歳以上	183	45.9%	17.5%	2.7%	32.8%	9.8%

### 問13 防災に関する情報を得る手段（〇はいくつでも）

- ・「テレビ、ラジオ」が73.9%と群を抜いて多い。
- ・「新聞、雑誌など」「インターネット」「スマートフォン（SNS含む）」「町内の回覧板や掲示板」はほぼ横並びで30%～40%、行政からの広報誌がそれに次ぐ27.6%となっている。
- ・「防災関係イベント」が5.6%、「隣近所の友人・知り合い」が7.6%、「家族や親類」が9.4%と低くなっている。



### ■年齢別 防災に関する情報を得る手段

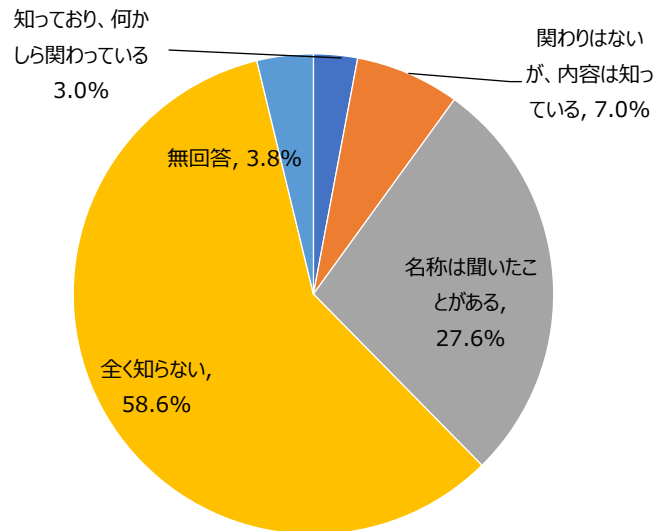
- ・「テレビ、ラジオ」は全年齢層にわたって回答率が高いが、29歳以下の若年層は59.6%と若い年齢層の回答率は比較的低くなっている。
- ・「新聞、雑誌など」「行政からの広報誌」「町内の回覧板や掲示板」は若い年齢層ほど回答率が低い。
- ・一方、「インターネット」「スマートフォン（SNS含む）」は若い年齢層の回答率が高い傾向にあり、若い年齢層への情報発信を充実させるには、ネットやSNSでの発信が有効であると考えられる。

		問13 防災に関する情報を得る手段（複数回答可）												
		合計	新聞、雑誌など	インターネット	スマートフォン（SNS含む）	テレビ、ラジオ	防災関係イベント	行政からの広報誌	町内の回覧板や掲示板	隣近所の友人・知り合い	家族や親類	その他	特にない	無回答
全体		1,794	37.7%	34.6%	38.0%	73.9%	5.6%	27.6%	37.4%	7.6%	9.4%	1.1%	3.3%	2.1%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	9.9%	53.2%	69.5%	59.6%	0.7%	5.0%	8.5%	5.0%	17.7%	0.7%	7.1%	0.0%
	30歳～39歳	201	16.9%	60.7%	68.2%	72.6%	3.0%	16.4%	24.9%	6.5%	14.4%	0.0%	2.0%	0.0%
	40歳～49歳	279	23.7%	54.1%	55.9%	68.1%	2.5%	19.0%	26.5%	6.8%	8.6%	0.7%	5.0%	0.4%
	50歳～59歳	301	35.9%	42.5%	42.5%	75.1%	3.7%	25.9%	31.2%	5.6%	5.6%	2.0%	3.0%	0.7%
	60歳～69歳	321	49.8%	28.0%	29.9%	79.8%	7.5%	34.6%	47.4%	7.8%	7.5%	1.6%	2.8%	1.2%
	70歳～79歳	357	56.6%	13.2%	15.4%	77.3%	9.0%	40.6%	54.6%	9.5%	9.5%	0.8%	1.4%	4.8%
	80歳以上	183	49.7%	3.8%	5.5%	78.1%	10.4%	37.2%	50.8%	11.5%	8.2%	1.1%	4.4%	4.9%

## 2. 福祉・保健について

### 問14 「保土ケ谷ほとなまちづくり」の認知（〇は一つだけ）

・「全く知らない」が58.6%と過半を占めている。「知っており、何かしら関わっている」（3.0%）、「関わりはないが、内容は知っている」（7.0%）を合わせても、内容まで認知されている割合は10%であり、認知度は比較的低い。



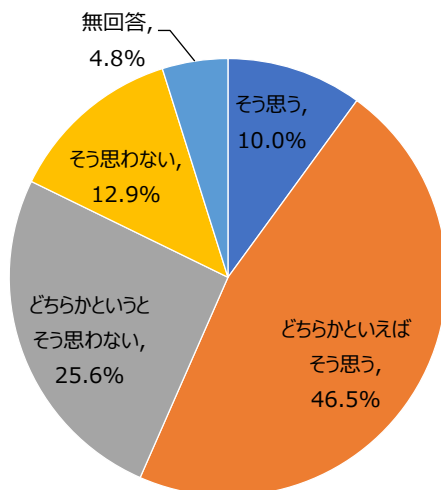
### ■年齢別 「保土ケ谷ほとなまちづくり」の認知

・29歳以下では83.0%、30歳代では77.6%が「全く知らない」と回答しており、若年層に認知されていない傾向がみられる。

		問14 「保土ケ谷ほとなまちづくり」の認知（単一回答）					
		合計	何かしら知っており、関わっている	関わりはないが、内容は知っている	名称は聞いたことがある	全く知らない	無回答
全体		1,794	3.0%	7.0%	27.6%	58.6%	3.8%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	0.0%	1.4%	15.6%	83.0%	0.0%
	30歳～39歳	201	1.0%	1.5%	18.9%	77.6%	1.0%
	40歳～49歳	279	1.8%	6.1%	26.9%	64.9%	0.4%
	50歳～59歳	301	2.0%	4.0%	31.9%	60.1%	2.0%
	60歳～69歳	321	3.1%	5.9%	30.2%	57.6%	3.1%
	70歳～79歳	357	6.2%	14.0%	30.3%	42.0%	7.6%
	80歳以上	183	4.4%	12.6%	31.7%	42.1%	9.3%

問 15 住んでいる地域が、高齢者や障害者、子どもなど「誰もが安心して暮らせるつながり支えあいのある」地域だと思うか（○は一つだけ）

・「そう思う」（10.0%）、「どちらかといえばそう思う」（46.5%）を合わせると過半数が肯定的な回答となっている。しかし、「どちらかというと思わない」（25.6%）、「そう思わない」（12.9%）を合わせると、否定的な回答も約4割となっている。



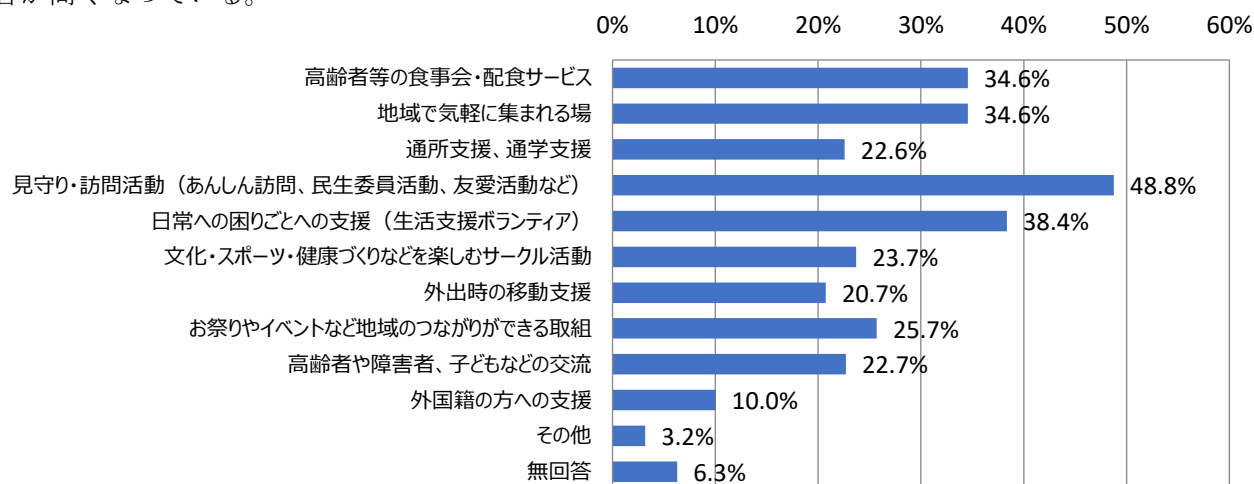
■年齢別 「誰もが安心して暮らせるつながり支えあいのある」地域だと思うか

・「そう思う」割合は年齢が高いほど割合が高い傾向がある。  
 ・他の年齢層に比べて29歳以下の年齢層では、「どちらかというと思わない」（19.9%）が低く、「そう思う」（9.9%）が比較的高い。

		問15 住んでいる地域が、高齢者や障害者、子どもなど「誰もが安心して暮らせるつながり支えあいのある」地域だと思うか（単一回答）					
		合計	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかというと思わない	そう思わない	無回答
全体		1,794	10.0%	46.5%	25.6%	12.9%	4.8%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	9.9%	53.2%	19.9%	16.3%	0.7%
	30歳～39歳	201	4.5%	51.7%	26.4%	15.4%	2.0%
	40歳～49歳	279	5.4%	52.0%	28.0%	12.9%	1.8%
	50歳～59歳	301	9.0%	47.2%	27.2%	13.0%	3.7%
	60歳～69歳	321	10.0%	45.5%	26.5%	13.1%	5.0%
	70歳～79歳	357	13.2%	42.0%	24.9%	10.9%	9.0%
	80歳以上	183	19.1%	38.3%	23.5%	12.0%	7.1%

問16 今後地域の中で充実していくといいと思う福祉保健に関する活動（〇はいくつでも）

・「見守り・訪問活動」が48.8%と高く、次いで「日常への困りごとの支援（生活支援ボランティア）」（38.4%）、「高齢者等の食事会・配食サービス」（34.6%）、「地域で気軽に集まれる場」（34.6%）の割合が高くなっている。



■年齢別 今後地域の中で充実していくといいと思う福祉保健に関する活動

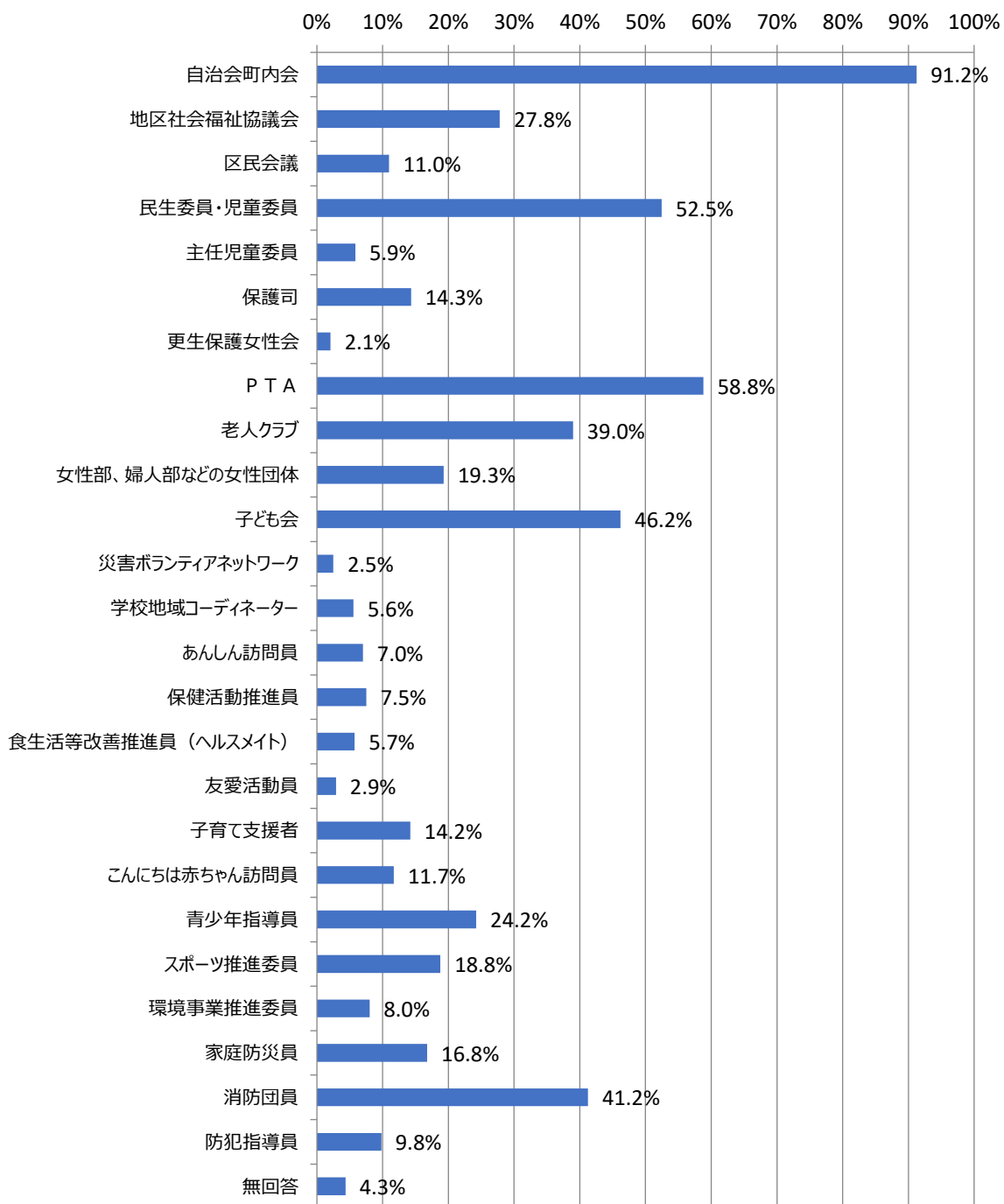
- ・「通所支援、通学支援」は30歳代、40歳代の割合が高い。
- ・「お祭りやイベントなど」は29歳以下、30歳代など若年層の割合が高い。
- ・「見守り・訪問活動」「日常への困りごとの支援」は40歳代～60歳代の割合が高い。
- ・「地域で気軽に集まれる場」は60歳代以上の年齢層の割合が高い。

		問16 今後地域の中で充実していくといいと思う福祉保健に関する活動（複数回答可）												
合計		高齢者等の食事会・配食サービス	地域で気軽に集まれる場	通所支援、通学支援	見守り・訪問活動（あんしん訪問、民生委員活動、友愛活動など）	日常への困りごとの支援（生活支援ボランティア）	文化・スポーツ・健康づくりなどを楽しむサークル活動	外出時の移動支援	お祭りやイベントなど地域のつながりができる取組	高齢者や障害者、子どもなどの交流	外国籍の方への支援	その他	無回答	
全体	1,794	34.6%	34.6%	22.6%	48.8%	38.4%	23.7%	20.7%	25.7%	22.7%	10.0%	3.2%	6.3%	
F1 年齢（10歳刻み）														
29歳以下	141	20.6%	32.6%	24.8%	34.8%	23.4%	26.2%	21.3%	37.6%	23.4%	20.6%	2.8%	2.1%	
30歳～39歳	201	32.3%	29.9%	36.8%	41.8%	27.4%	25.4%	16.9%	42.8%	29.9%	14.9%	3.5%	3.0%	
40歳～49歳	279	33.0%	26.2%	31.2%	52.7%	37.3%	19.4%	22.9%	30.8%	26.2%	13.3%	2.9%	3.2%	
50歳～59歳	301	37.2%	29.6%	22.3%	58.1%	50.2%	19.9%	29.6%	17.3%	21.6%	10.3%	5.3%	4.7%	
60歳～69歳	321	36.8%	41.1%	25.2%	51.7%	44.2%	25.2%	19.9%	22.1%	21.5%	6.9%	1.2%	5.3%	
70歳～79歳	357	35.9%	40.1%	12.3%	45.4%	40.1%	29.4%	16.8%	21.3%	19.3%	5.9%	3.4%	10.4%	
80歳以上	183	40.4%	41.0%	8.7%	49.7%	32.2%	19.1%	15.8%	19.1%	20.2%	5.5%	3.3%	12.0%	



問 17 地域で活動している団体の認知（〇はいくつでも）

- ・自治会町内会の認知度は91.2%と非常に高い。
- ・「PTA」が58.8%、「民生委員・児童委員」が52.5%、「子ども会」が46.2%、「消防団員」が41.2%、「老人クラブ」が39.0%となっており、認知度が高い。



■年齢別 地域で活動している団体の認知

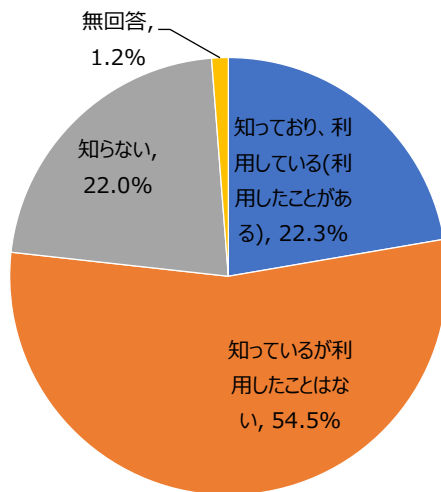
- ・「PTA」、「子ども会」は全体的に認知度が高く、「子育て支援者」、「こんにちは赤ちゃん訪問員」などは、実際に子育てに関わっている若年層、30歳代～40歳代の認知度が高い。
- ・「地区社会福祉協議会」、「民生委員・児童委員」、「老人クラブ」、「家庭防災員」などは、40歳代以上の年齢層の認知度が高い。

		問17 地域で活動している団体の認知（複数回答可）													
		合計	自治会町内会	地区社会福祉協議会	区民会議	民生委員・児童委員	主任児童委員	保護司	更生保護女性会	PTA	老人クラブ	女性部、婦人部など	子ども会	災害ボランティアネットワーク	学校地域コーディネーター
全体		1,794	91.2%	27.8%	11.0%	52.5%	5.9%	14.3%	2.1%	58.8%	39.0%	19.3%	46.2%	2.5%	5.6%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	83.7%	9.9%	9.2%	17.7%	2.1%	5.7%	0.7%	73.8%	15.6%	8.5%	48.9%	2.1%	4.3%
	30歳～39歳	201	87.1%	12.9%	8.0%	36.8%	5.0%	10.0%	0.5%	67.7%	21.9%	15.4%	52.7%	3.0%	7.5%
	40歳～49歳	279	89.6%	22.2%	10.0%	51.3%	5.7%	12.2%	2.2%	71.7%	31.2%	20.1%	53.0%	2.2%	12.2%
	50歳～59歳	301	94.4%	29.6%	11.3%	61.5%	6.0%	16.9%	2.3%	68.4%	39.9%	29.2%	59.1%	3.0%	5.3%
	60歳～69歳	321	95.3%	37.7%	13.7%	63.9%	6.9%	18.7%	2.8%	56.4%	47.0%	18.1%	45.2%	2.5%	3.7%
	70歳～79歳	357	94.4%	35.9%	12.6%	58.0%	5.6%	17.4%	2.8%	46.2%	50.1%	19.6%	36.4%	2.2%	3.4%
	80歳以上	183	87.4%	31.7%	8.7%	53.6%	8.7%	12.0%	1.6%	32.2%	51.9%	16.4%	26.2%	2.7%	2.2%

		問17 地域で活動している団体の認知（複数回答可）													
		合計	あんしん訪問員	保健活動推進員	食生活等改善推進員	友愛活動員	子育て支援者	こんにちは赤ちゃん訪問員	青少年指導員	スポーツ推進委員	環境事業推進委員	家庭防災員	消防団員	防犯指導員	無回答
全体		1,794	7.0%	7.5%	5.7%	2.9%	14.2%	11.7%	24.2%	18.8%	8.0%	16.8%	41.2%	9.8%	4.3%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	1.4%	1.4%	0.0%	1.4%	10.6%	7.1%	14.2%	9.2%	3.5%	6.4%	43.3%	6.4%	3.5%
	30歳～39歳	201	6.0%	3.5%	4.5%	1.0%	29.4%	42.3%	13.4%	11.9%	3.5%	3.5%	42.8%	4.0%	6.0%
	40歳～49歳	279	6.8%	6.5%	5.0%	0.7%	20.1%	20.1%	24.4%	17.9%	5.7%	11.5%	47.7%	8.2%	3.9%
	50歳～59歳	301	4.7%	8.6%	6.0%	2.0%	11.6%	7.6%	30.9%	22.9%	7.6%	20.9%	45.8%	11.0%	3.7%
	60歳～69歳	321	5.6%	9.7%	7.5%	2.8%	11.5%	5.6%	32.7%	25.9%	8.7%	21.5%	42.4%	11.2%	2.2%
	70歳～79歳	357	9.2%	9.8%	7.6%	3.6%	10.9%	4.2%	26.1%	21.0%	13.7%	25.2%	37.5%	15.1%	3.6%
	80歳以上	183	15.3%	8.7%	6.0%	9.8%	7.1%	1.1%	15.3%	12.0%	8.7%	16.9%	25.7%	6.6%	8.2%

問 18 地域ケアプラザの認知と利用の有無（〇は一つだけ）

・「知っており、利用している（利用したことがある）」が 22.3%であり、回答者のおよそ 5 人に 1 人は利用歴がある。また「知っているが利用したことはない」が 54.5%であり、両者を合わせると地域ケアプラザの認知度は 7 割以上となっている。



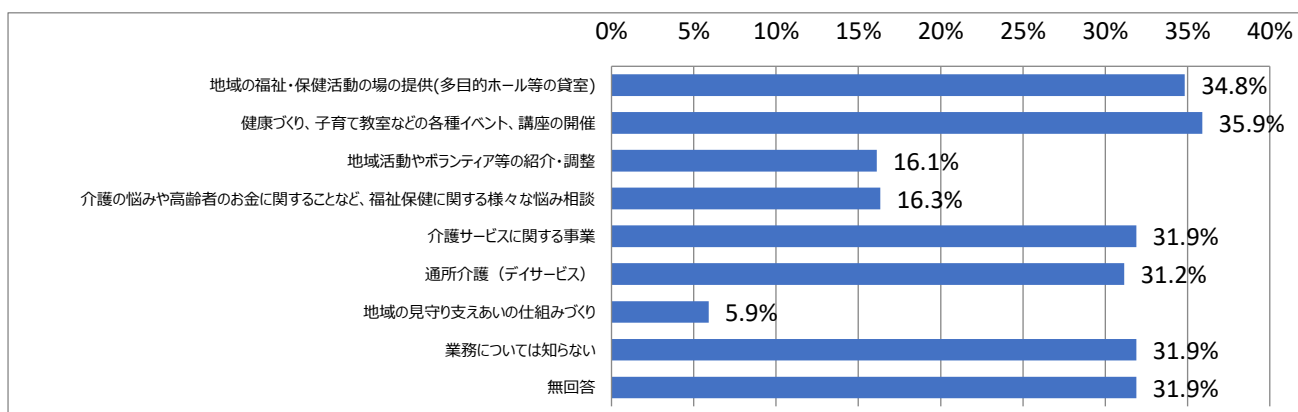
■年齢別 地域ケアプラザの認知と利用の有無

- ・「知らない」と回答したのは、29歳以下の若年層で 43.3%となり、他の年代に比べて非常に多い。
- ・「知っており、利用している（利用したことがある）」との回答には、30歳代と 80歳以上の 2つのピークが存在する。

		問18 地域ケアプラザの認知と利用の有無（単一回答）				
		合計	知っており、 利用している (利用したことがある)	知っているが 利用したことはない	知らない	無回答
全体		1,794	22.3%	54.5%	22.0%	1.2%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	9.9%	46.8%	43.3%	0.0%
	30歳～39歳	201	29.4%	45.3%	24.9%	0.5%
	40歳～49歳	279	23.7%	49.5%	26.5%	0.4%
	50歳～59歳	301	17.6%	63.8%	18.3%	0.3%
	60歳～69歳	321	19.0%	59.5%	20.2%	1.2%
	70歳～79歳	357	22.4%	59.9%	15.1%	2.5%
	80歳以上	183	36.1%	43.7%	19.1%	1.1%

### 問 19 ケアプラザの業務の認知（〇はいくつでも）

- ・認知度の高い業務は、「健康づくり、子育て教室などの各種イベント、講座の開催」35.9%、「地域の福祉・保健活動の場の提供（多目的ホール等の貸室）」34.8%、「介護サービスに関する事業」31.9%、「通所介護（デイサービス）」31.2%であり、貸室機能、各種イベント・講座、介護サービス等の事業の認知度が高い。
- ・一方、「業務については知らない」という回答も31.9%あり、ケアプラザの業務内容を認知していない層も一定数存在することがわかる。



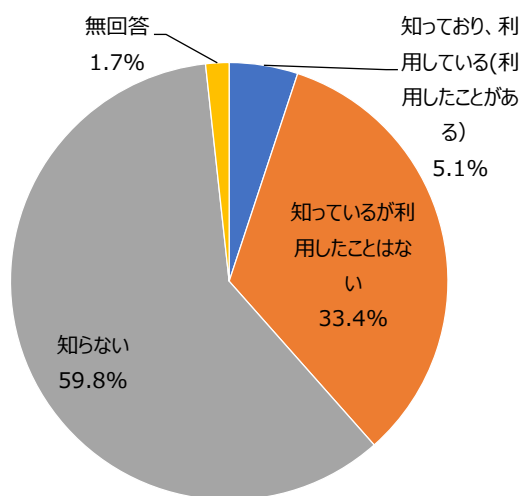
### ■年齢別 ケアプラザの業務の認知

- ・「介護サービスに関する事業」「通所介護（デイサービス）」については、40歳代以降の年齢層の認知度が高い。
- ・「健康づくり、子育て教室などの各種イベント、講座の開催」については、30歳代が53.2%と非常に高く、次いで40歳代が41.6%となっており、子育て世代の認知度が高い傾向にある。
- ・29歳以下については、全事業を通じて認知度が低い。

		問19 ケアプラザの業務の認知（複数回答可）									
		合計	地域の福祉・保健活動の場の提供 (多目的ホール等の貸室)	健康づくり、子育て教室などの各種イベント、講座の開催	地域活動やボランティア等の紹介・調整	介護の悩みや高齢者のお金に関することなど、福祉保健に関する様々な悩み相談	介護サービスに関する事業	通所介護（デイサービス）	地域の見守り支えあいの仕組みづくり	業務については知らない	無回答
全体		1,794	34.8%	35.9%	16.1%	16.3%	31.9%	31.2%	5.9%	31.9%	31.9%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	21.3%	24.1%	9.9%	6.4%	12.1%	15.6%	2.8%	23.4%	41.8%
	30歳～39歳	201	35.3%	53.2%	16.4%	15.4%	18.4%	17.9%	6.0%	10.4%	25.9%
	40歳～49歳	279	34.4%	41.6%	19.4%	15.4%	25.8%	26.9%	5.7%	20.8%	25.1%
	50歳～59歳	301	36.2%	34.9%	16.3%	17.9%	34.2%	34.9%	4.3%	21.3%	18.6%
	60歳～69歳	321	38.0%	35.2%	17.4%	20.2%	41.7%	36.8%	6.9%	15.3%	20.9%
	70歳～79歳	357	37.8%	33.1%	17.1%	16.2%	36.4%	37.0%	6.2%	16.5%	18.5%
	80歳以上	183	33.3%	26.2%	11.5%	18.0%	42.6%	38.3%	8.7%	17.5%	19.1%

問 20 区社会福祉協議会の認知（○は一つだけ）

- ・「知らない」が 59.8%と、地域ケアプラザに比べても認知度が低いと言える。
- ・「知っており、利用している（利用したことがある）」は 5.1%にとどまっている。



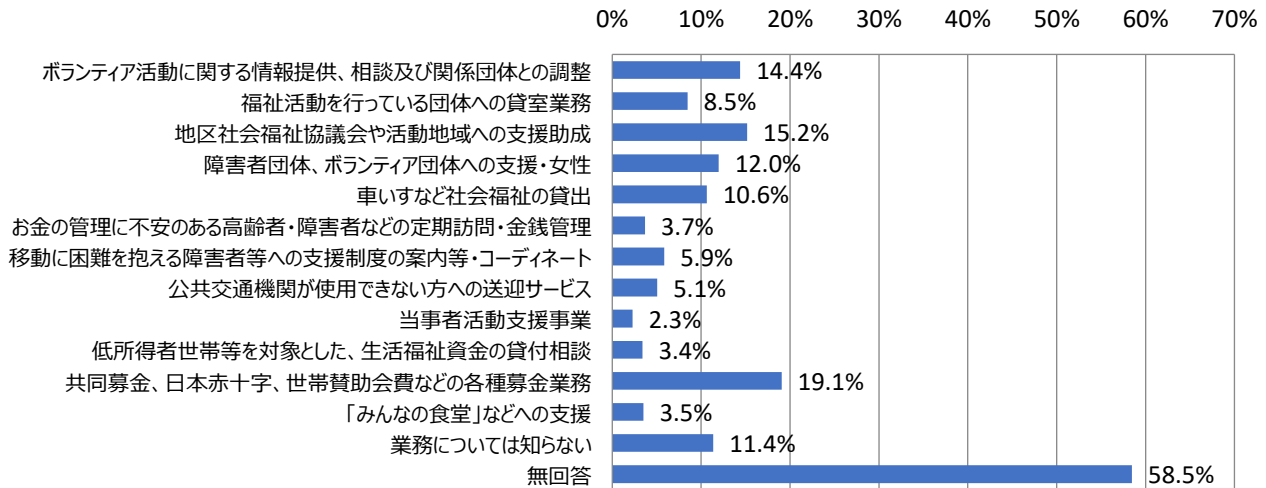
■年齢別 区社会福祉協議会の認知

- ・認知度、利用率ともに年齢にほぼ正比例しており、年齢が高いほど利用率も認知度も高い。

		問20 区社会福祉協議会の認知（単一回答）				
		合計	知っており、 利用している (利用したことがある)	知っているが 利用したことはない	知らない	無回答
全体		1,794	5.1%	33.4%	59.8%	1.7%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	1.4%	10.6%	87.9%	0.0%
	30歳～39歳	201	3.0%	14.9%	81.6%	0.5%
	40歳～49歳	279	3.9%	26.5%	68.8%	0.7%
	50歳～59歳	301	3.0%	34.2%	62.5%	0.3%
	60歳～69歳	321	6.9%	38.9%	53.0%	1.2%
	70歳～79歳	357	7.0%	44.8%	44.8%	3.4%
	80歳以上	183	8.7%	48.6%	38.8%	3.8%

問21 区社会福祉協議会の業務の認知（〇はいくつでも）

- ・「各種募金業務」19.1%、「地区社会福祉協議会や活動地域への支援助成」15.2%、「ボランティア活動に関する情報提供、相談及び関係団体との調整」14.4%といった業務に対する認知度が比較的高い。
- ・一方、「お金の管理に不安のある高齢者・障害者などの定期訪問・金銭管理」3.7%、「当事者活動支援事業」2.3%、「低所得者世帯等を対象とした、生活福祉資金の貸付相談」3.4%、「『みんなの食堂』などへの支援」3.5%といった業務への認知度は低い。



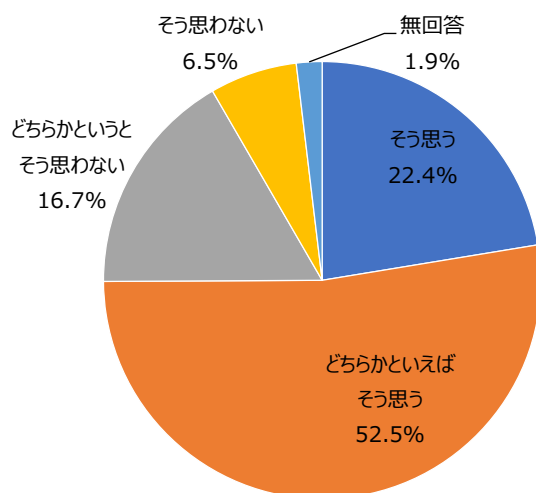
■年齢別 区社会福祉協議会の業務の認知

- ・概ね、年齢層が高くなるにしたがって、認知度も高くなる傾向がある。
- ・「お金の管理に不安のある高齢者・障害者などの定期訪問・金銭管理」については、50歳代の認知度が最も高くなっている。

		問21 区社会福祉協議会の業務の認知（複数回答可）														
		合計	ボランティア活動に関する情報提供、相談及び関係団体との調整	福祉活動を行っている団体への貸室業務	地区社会福祉協議会や活動地域への支援助成	障害者団体、ボランティア団体への支援・女性	車いすなど社会福祉の貸出	お金の管理に不安のある高齢者・障害者などの定期訪問・金銭管理	移動に困難を抱える障害者等への支援制度の案内等・コーディネート	公共交通機関が使用できない方への送迎サービス	当事者活動支援事業	低所得者世帯等を対象とした、生活福祉資金の貸付相談	共同募金、日本赤十字、世帯賛助会費などの各種募金業務	「みんなの食堂」などへの支援	業務については知らない	無回答
全体		1,794	14.4%	8.5%	15.2%	12.0%	10.6%	3.7%	5.9%	5.1%	2.3%	3.4%	19.1%	3.5%	11.4%	58.5%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	5.7%	2.1%	5.0%	6.4%	2.1%	1.4%	0.7%	0.7%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%	7.8%	82.3%
	30歳～39歳	201	8.0%	5.5%	6.5%	6.5%	5.5%	3.5%	3.0%	2.5%	1.5%	3.0%	6.5%	1.5%	9.0%	78.6%
	40歳～49歳	279	12.5%	8.2%	10.8%	8.6%	6.8%	3.6%	5.7%	3.6%	2.2%	2.2%	9.3%	2.5%	15.1%	65.6%
	50歳～59歳	301	12.6%	8.3%	15.3%	12.3%	11.3%	5.6%	6.3%	4.7%	2.7%	4.7%	17.6%	3.3%	9.6%	61.1%
	60歳～69歳	321	20.2%	9.3%	19.6%	17.1%	13.7%	3.4%	7.2%	6.2%	2.5%	3.1%	23.4%	5.0%	10.3%	52.0%
	70歳～79歳	357	18.8%	11.5%	22.4%	15.7%	13.2%	3.6%	7.0%	7.6%	2.8%	3.9%	28.3%	4.2%	12.9%	46.2%
	80歳以上	183	15.3%	9.8%	17.5%	10.9%	17.5%	2.7%	7.7%	7.7%	2.7%	4.4%	38.3%	6.0%	13.7%	37.2%

問22 いきいきと生活していると感じているか（〇は一つだけ）

- ・「そう思う」の22.4%、「どちらかといえばそう思う」の52.5%を合わせると、約75%の回答者が肯定的な回答をしている。
- ・「どちらかというとそう思わない」16.7%、「そう思わない」6.5%と、否定的な回答をした回答者も2割以上存在する。



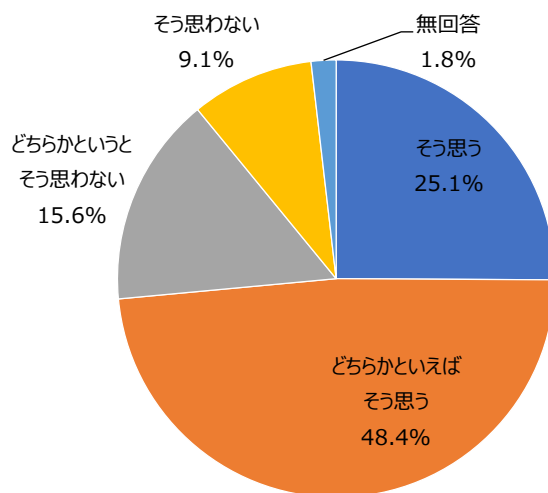
■年齢別 いきいきと生活していると感じているか

- ・「そう思う」は29歳以下と30歳代の回答者の割合が多い。
- ・「どちらかといえばそう思う」という回答は、80歳以上の割合が他の年齢層に比べて低い。

		問22 いきいきと生活していると感じているか（単一回答）					
		合計	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかというとそう思わない	そう思わない	無回答
全体		1,794	22.4%	52.5%	16.7%	6.5%	1.9%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	27.7%	51.1%	16.3%	3.5%	1.4%
	30歳～39歳	201	28.9%	49.8%	14.9%	5.5%	1.0%
	40歳～49歳	279	22.2%	53.8%	16.5%	5.7%	1.8%
	50歳～59歳	301	18.6%	55.1%	18.3%	7.6%	0.3%
	60歳～69歳	321	21.2%	57.9%	15.0%	4.7%	1.2%
	70歳～79歳	357	22.4%	52.9%	16.2%	6.2%	2.2%
	80歳以上	183	20.2%	42.6%	20.8%	13.1%	3.3%

### 問23 健康だと感じているか（○は一つだけ）

- ・「そう思う」が25.1%、「どちらかといえばそう思う」が48.4%であり、7割以上の回答者が肯定的な回答をしている。
- ・「どちらかというと思わない」は15.6%、「そう思わない」は9.1%であり、約4分の1の回答者が否定的な回答をしている。



### ■年齢別 健康だと感じているか

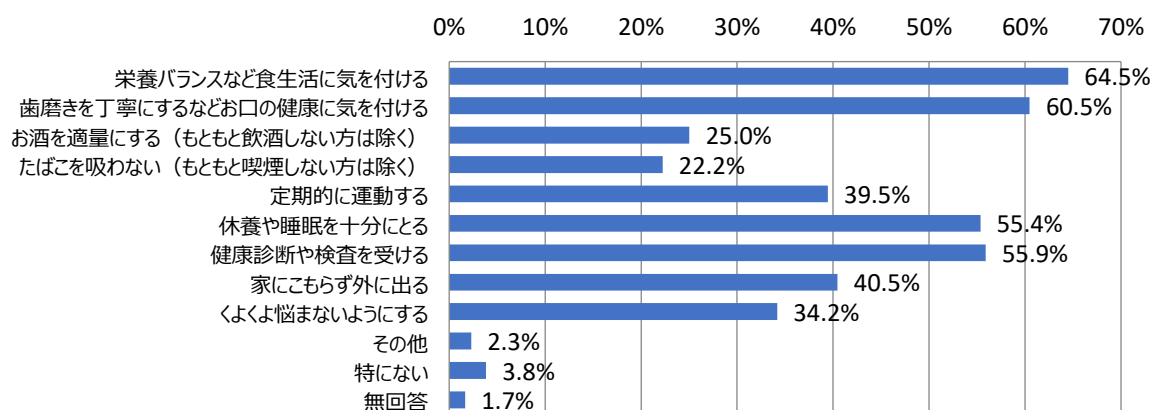
- ・「そう思う」の回答は29歳以下と30歳代の割合が多く、年齢が高くなるにつれて減っている。
- ・「どちらかというと思わない」「そう思わない」の回答は、年齢が高くなるにつれて割合が多くなる。また80歳代以上では、「どちらかといえばそう思う」の回答の割合が大きく減っている。

		合計	問23 健康だと感じているか（単一回答）				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかというと思わない	そう思わない	無回答
全体		1,794	25.1%	48.4%	15.6%	9.1%	1.8%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	37.6%	41.8%	14.9%	4.3%	1.4%
	30歳～39歳	201	37.8%	44.8%	9.5%	7.0%	1.0%
	40歳～49歳	279	26.9%	51.3%	12.9%	7.5%	1.4%
	50歳～59歳	301	22.6%	52.8%	17.9%	6.3%	0.3%
	60歳～69歳	321	21.5%	52.6%	15.3%	9.3%	1.2%
	70歳～79歳	357	21.0%	49.6%	16.2%	10.4%	2.8%
	80歳以上	183	18.6%	37.7%	21.9%	19.1%	2.7%



## 問24 自分で心がけているもの（○はいくつでも）

- ・「栄養バランスなど食生活に気を付ける」（64.5%）、および「歯磨きを丁寧にするなどお口の健康に気を付ける」（60.5%）と回答した人はともに6割を超えている。
- ・次いで「休養や睡眠を十分にとる」（55.4%）、「健康診断や検査を受ける」（55.9%）の回答が多かった。
- ・「お酒を適量にする」（25.0%）、「たばこを吸わない」（22.2%）は比較的回答が少なかった。



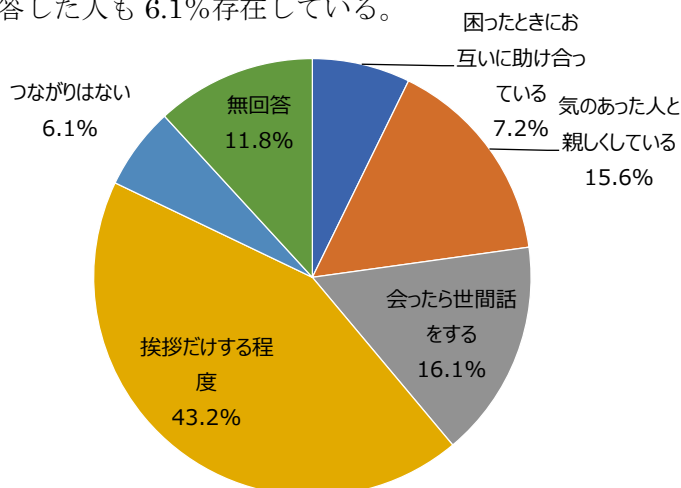
## ■年齢別 自分で心がけているもの

- ・概ね、年齢層が高くなるにつれて回答の割合が増える傾向にある。
- ・「お酒を適量にする」については、年齢層が低いほど回答の割合が高い。
- ・「定期的に運動する」は、29歳以下で高く、30歳代で落ち込んだあと、年齢とともに高くなっていく傾向にあり、60歳代が最も高い。
- ・「健康診断や検査を受ける」は、29歳以下の割合が他の年齢層に比べて非常に低い。
- ・「くよくよ悩まないようにする」は、70歳代、80歳以上の年齢層で特に高くなっている。

		問24 自分で心がけているもの（複数回答可）												
合計		栄養バランスなど食生活に気を付ける	歯磨きを丁寧にするなどお口の健康に気を付ける	（もともと飲酒しない方は除く） お酒を適量にする	（もともと喫煙しない方は除く） たばこを吸わない	定期的に運動する	休養や睡眠を十分にとる	健康診断や検査を受ける	家にこもらず外に出る	くよくよ悩まないようにする	その他	特になし	無回答	
全体	1,794	64.5%	60.5%	25.0%	22.2%	39.5%	55.4%	55.9%	40.5%	34.2%	2.3%	3.8%	1.7%	
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	48.9%	54.6%	33.3%	17.7%	41.8%	57.4%	29.8%	27.7%	0.7%	4.3%	2.1%	
	30歳～39歳	201	61.2%	60.7%	24.9%	26.4%	25.9%	56.2%	46.8%	40.3%	30.3%	1.0%	4.5%	1.0%
	40歳～49歳	279	63.4%	56.3%	22.9%	23.7%	32.3%	59.1%	54.1%	35.1%	30.5%	1.1%	4.3%	1.1%
	50歳～59歳	301	66.4%	61.5%	22.3%	21.6%	37.9%	52.5%	64.5%	29.2%	30.6%	1.7%	4.0%	0.3%
	60歳～69歳	321	68.5%	61.4%	28.7%	22.1%	47.4%	55.8%	59.5%	43.3%	31.2%	1.6%	3.7%	0.6%
	70歳～79歳	357	68.1%	63.3%	25.2%	22.1%	45.1%	58.0%	59.1%	54.3%	42.6%	3.4%	3.4%	2.8%
	80歳以上	183	67.2%	65.0%	20.8%	21.3%	42.6%	49.2%	63.9%	45.4%	45.9%	7.1%	3.3%	2.2%

問25 近所とのつながりについて（〇は一つだけ）

- ・「挨拶だけする程度」が43.2%と最も高い。次いで「会ったら世間話をする」が16.1%と多い。この2つを合わせると半分を超える割合となる。
- ・「気の合った人と親しくしている」が15.6%、「困ったときにお互いに助け合っている」は7.2%となっており、一定以上親しい付き合いをしているという回答は、合わせると2割を超える程度となっている。
- ・「つながりはない」と回答した人も6.1%存在している。



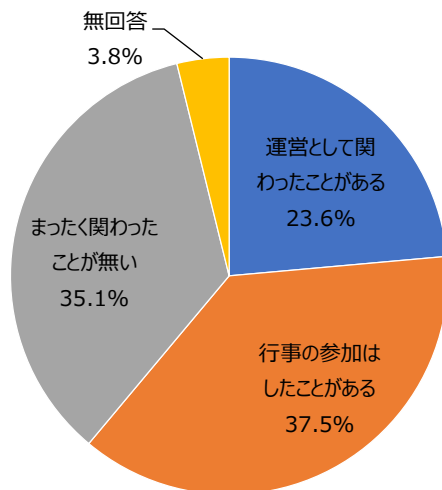
■年齢別 近所とのつながりについて

- ・「困ったときにお互いに助け合っている」「気の合った人と親しくしている」「会ったら世間話をする」等の親しくしている、またはコミュニケーションをとっている割合は、概ね年齢とともに高くなっていく傾向があるが、80歳以上の年齢層では少し低くなっている。
- ・「つながりはない」の回答は、特に29歳以下の年齢層に多くみられる。

		問25 近所とのつながりについて（単一回答）						
		合計	困ったときにお互いに助け合っている	気の合った人と親しくしている	会ったら世間話をする	挨拶だけする程度	つながりはない	無回答
全体		1,794	7.2%	15.6%	16.1%	43.2%	6.1%	11.8%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	3.5%	5.0%	4.3%	66.0%	18.4%	2.8%
	30歳～39歳	201	7.5%	14.4%	14.4%	50.2%	8.5%	5.0%
	40歳～49歳	279	6.8%	17.2%	15.1%	47.7%	5.0%	8.2%
	50歳～59歳	301	7.0%	13.3%	16.9%	50.2%	6.0%	6.6%
	60歳～69歳	321	6.2%	19.0%	16.8%	41.7%	4.0%	12.1%
	70歳～79歳	357	9.2%	19.6%	21.3%	29.4%	3.6%	16.8%
	80歳以上	183	9.3%	13.1%	15.8%	30.1%	3.8%	27.9%

問 26 地域活動を行ったことがあるか（○は一つだけ）

・最も多かったのが「行事の参加はしたことがある」の 37.5%で、これに「運営として関わったことがある」の 23.6%を加えると、約 6 割の回答者が地域活動に何らかの形で参加した経験があることが分かる。



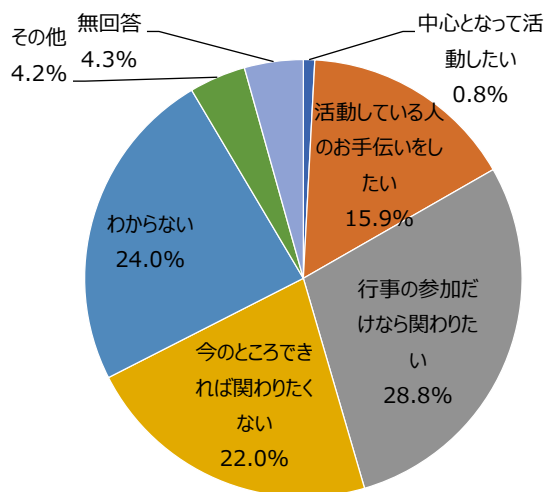
■年齢別 地域活動を行ったことがあるか

- ・「運営として関わったことがある」は 50 歳代から上の年齢層に多い。
- ・「まったくかかわったことがない」は 29 歳以下、30 歳代の年齢層が特に多い。

		問26 地域活動を行ったことがあるか（単一回答）				
		合計	運営として関わったことがある	行事の参加はしたことがある	まったく関わったことが無い	無回答
全体		1,794	23.6%	37.5%	35.1%	3.8%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	2.8%	34.0%	61.7%	1.4%
	30歳～39歳	201	13.4%	32.3%	53.2%	1.0%
	40歳～49歳	279	19.7%	42.3%	34.8%	3.2%
	50歳～59歳	301	32.2%	33.9%	32.9%	1.0%
	60歳～69歳	321	31.8%	37.7%	27.1%	3.4%
	70歳～79歳	357	27.2%	38.4%	28.3%	6.2%
	80歳以上	183	22.4%	42.1%	27.3%	8.2%

### 問27 今後の地域活動に関する考え方（〇は一つだけ）

- ・「行事の参加だけなら関わりたい」が最も多く 28.8%であった。
- ・「活動している人のお手伝いをしたい」が 15.9%で、これに「中心となって活動したい」の 0.8%を加えて、地域活動に主体的にかかわる意向を持っている回答者は 2 割弱といえる。
- ・「今のところできれば関わらない」という回答は 2 割強であった。
- ・また「わからない」と態度を保留にした回答も 24.0%あった。



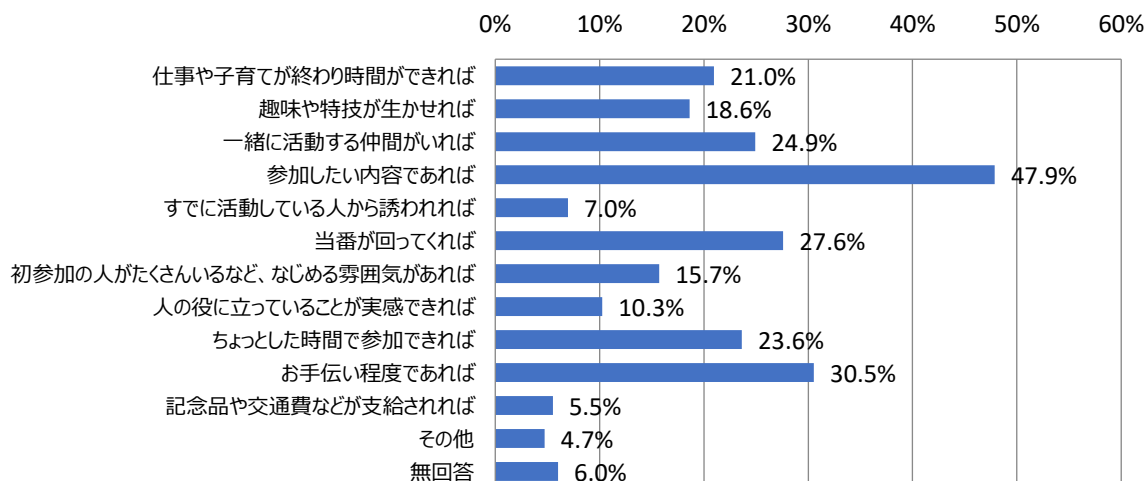
### ■年齢別 今後の地域活動に関する考え方

- ・活動への参加意欲は、概ね年齢層が上がるにつれ高くなる傾向にある。ただし、80歳以上の年齢層では落ち込んでいる。
- ・29歳以下の若年層は、「わからない」回答が他の年齢層に比べて非常に多い。

		問27 今後の地域活動に関する考え方（単一回答）							
		合計	中心となって活動したい	活動している人のお手伝いをしたい	行事の参加だけなら関わりたい	今のところできれば関わらない	わからない	その他	無回答
全体		1,794	0.8%	15.9%	28.8%	22.0%	24.0%	4.2%	4.3%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	0.0%	9.9%	23.4%	25.5%	39.0%	1.4%	0.7%
	30歳～39歳	201	1.0%	9.5%	34.8%	23.4%	22.9%	6.5%	2.0%
	40歳～49歳	279	0.7%	15.4%	29.0%	23.3%	25.1%	3.6%	2.9%
	50歳～59歳	301	1.3%	16.3%	26.9%	25.2%	27.2%	2.3%	0.7%
	60歳～69歳	321	1.9%	19.0%	29.0%	21.2%	22.4%	2.8%	3.7%
	70歳～79歳	357	0.3%	20.4%	30.8%	20.7%	16.8%	4.8%	6.2%
	80歳以上	183	0.0%	13.7%	25.1%	15.3%	23.5%	9.3%	13.1%

問28 地域活動を行う場合、どのようなことがあれば参加しやすいか（〇はいくつでも）

- ・「参加したい内容であれば」が47.9%と非常に多い。
- ・次いで、「お手伝い程度であれば」が30.5%、「当番が回ってくれば」が27.6%、「一緒に活動する仲間がいれば」が24.9%と回答が多くなっている。
- ・「既に活動している人から誘われれば」は7.0%、「記念品や交通費などが支給されれば」は5.5%と回答が少なかった。



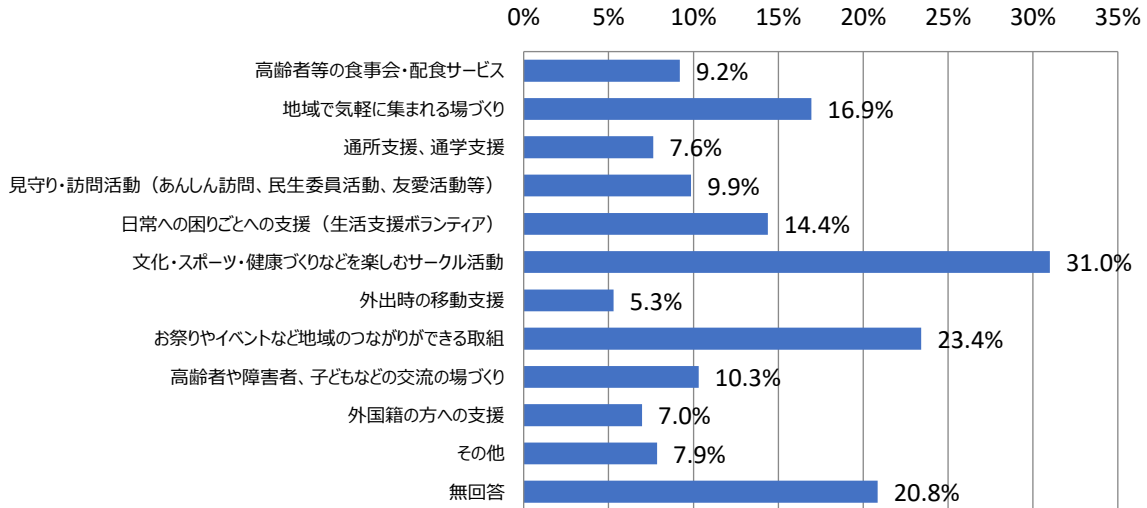
■年齢別 地域活動を行う場合、どのようなことがあれば参加しやすいか

- ・「仕事や子育てが終わり時間ができれば」は30歳代、40歳代で割合が多かった。
- ・「一緒に活動する仲間がいれば」は、29歳以下、30歳代が多い。
- ・「当番が回ってくれば」と「お手伝い程度であれば」については、年齢層が高いほど回答が多かったが、80歳以上の年齢層については少なくなっている。

		問28 地域活動を行う場合、どのようなことがあれば参加しやすいか（複数回答可）													
		仕事や子育てが 終わりが できれば	趣味や 特技が 生かせ れば	一緒に 活動す る仲間 がいれ ば	参加し たい内 容であ れば	すで に活動 してい る人か ら誘わ れれば	当番 が回っ てくれ ば	初参 加の人 がたく さんい るなど 、なじ める雰 囲気あ れば	人の 役に立 ってい ること が実 感でき れば	ちょ っとし た時間 で参 加でき れば	お手 伝い程 度であ れば	記念 品や交 通費な どが 支給さ れれば	その他	無 回答	
全体	合計	1,794	21.0%	18.6%	24.9%	47.9%	7.0%	27.6%	15.7%	10.3%	23.6%	30.5%	5.5%	4.7%	6.0%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	19.9%	24.8%	36.2%	51.1%	5.7%	13.5%	27.0%	10.6%	27.7%	23.4%	14.9%	2.1%	0.7%
	30歳～39歳	201	39.3%	17.4%	32.3%	53.7%	8.0%	20.4%	24.4%	6.5%	29.4%	29.4%	11.4%	4.5%	3.0%
	40歳～49歳	279	38.4%	19.0%	23.7%	48.0%	6.5%	25.8%	15.8%	10.8%	24.0%	28.3%	8.2%	3.2%	2.9%
	50歳～59歳	301	28.6%	17.3%	21.3%	46.5%	6.0%	29.6%	13.6%	9.3%	24.9%	31.9%	4.3%	3.7%	3.3%
	60歳～69歳	321	15.3%	17.4%	25.2%	53.0%	8.4%	38.3%	14.6%	10.6%	25.2%	33.3%	2.8%	2.8%	4.0%
	70歳～79歳	357	6.7%	21.3%	22.7%	47.6%	8.1%	31.1%	13.4%	13.7%	20.2%	39.2%	2.0%	5.0%	7.6%
	80歳以上	183	0.5%	14.8%	20.2%	33.3%	4.9%	20.2%	7.7%	8.2%	15.8%	16.9%	1.1%	14.2%	20.8%

問 29 今後やってみたいと思う地域での福祉保健に関する活動（〇はいくつでも）

- ・「文化・スポーツ・健康づくりなどを楽しむサークル活動」が 31.0%と最も多かった。次いで「お祭りやイベントなど地域のつながりができる取組」が 23.4%、「地域で気軽に集まれる場づくり」が 16.9%で多い回答となっている。
- ・「外出時の移動支援」5.3%、「外国籍の方への支援」7.0%、「通所支援、通学支援」7.6%などの活動については回答率が低かった。



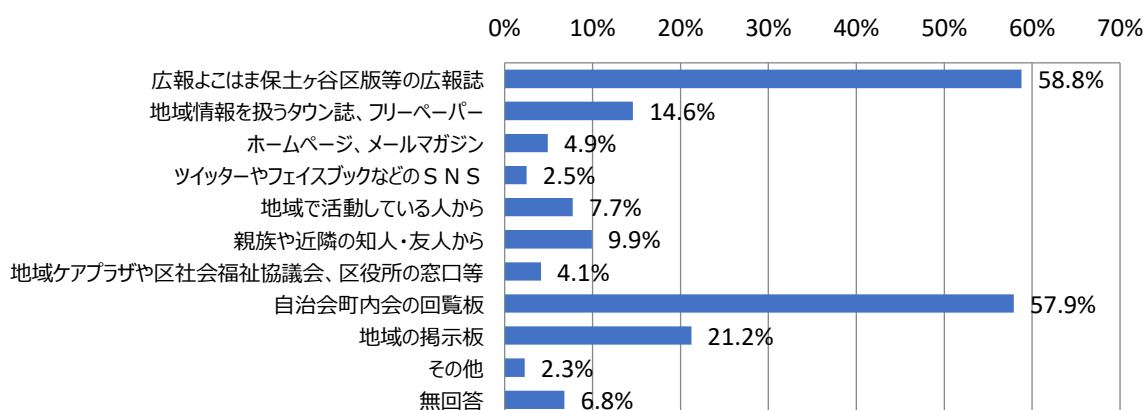
■年齢別 今後やってみたいと思う地域での福祉保健に関する活動

- ・「文化・スポーツ・健康づくりなどを楽しむサークル活動」については、29歳以下の割合が最も高いものの、各年齢層ともまんべんなく回答率が高い。
- ・「お祭りやイベントなど地域のつながりができる取組」については、29歳以下から40歳代までの若い年代で回答率が高かった。
- ・「通所支援、通学支援」「外国籍の方への支援」については、年齢が低いほど回答率が高くなっている。
- ・「地域で気軽に集まれる場づくり」「日常への困りごとへの支援」などは50歳代から70歳代の回答率が高い。

		問29 今後やってみたいと思う地域での福祉保健に関する活動（複数回答可）												
合計		高齢者等の食事会・配食サービス	地域で気軽に集まれる場づくり	通所支援、通学支援	見守り・訪問活動（あんしん訪問、民生委員活動、友愛活動等）	日常への困りごとへの支援（生活支援ボランティア）	文化・スポーツ・健康づくりなどを楽しむサークル活動	外出時の移動支援	お祭りやイベントなど地域のつながりができる取組	高齢者や障害者、子どもなどの交流の場づくり	外国籍の方への支援	その他	無回答	
全体		1,794	9.2%	16.9%	7.6%	9.9%	14.4%	31.0%	5.3%	23.4%	10.3%	7.0%	7.9%	20.8%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	5.0%	15.6%	11.3%	5.0%	13.5%	38.3%	6.4%	36.2%	11.3%	17.0%	2.8%	8.5%
	30歳～39歳	201	9.0%	12.9%	10.9%	8.5%	6.5%	29.9%	5.5%	43.8%	15.9%	10.9%	4.5%	13.4%
	40歳～49歳	279	7.5%	14.7%	11.1%	14.7%	12.9%	26.5%	5.0%	31.2%	12.9%	8.6%	6.8%	17.2%
	50歳～59歳	301	10.6%	13.0%	7.3%	12.3%	22.9%	33.2%	5.6%	18.9%	9.6%	7.0%	10.0%	16.9%
	60歳～69歳	321	9.7%	20.2%	7.2%	10.0%	19.9%	33.6%	5.6%	17.8%	8.1%	7.2%	7.8%	19.6%
	70歳～79歳	357	9.2%	22.7%	4.5%	8.7%	12.3%	34.2%	5.3%	16.5%	9.0%	2.8%	7.3%	26.9%
	80歳以上	183	12.6%	16.4%	3.8%	6.6%	7.1%	19.7%	3.3%	10.9%	7.1%	0.5%	14.8%	38.3%

### 問30 地域活動の情報を得る手段（〇はいくつでも）

- ・「広報よこはま保土ヶ谷区版等の広報誌」が58.8%、「自治会町内会の回覧板」が57.9%と、他に比べて非常に高い割合である。次いで多いのが「地域の掲示板」で21.2%となっている。
- ・「ツイッターやフェイスブックなどのSNS」2.5%、「ホームページ、メールマガジン」4.9%など、ネットなどを介した手段の割合は低くなっている。
- ・また「地域ケアプラザや区社会福祉協議会、区役所の窓口等」も4.1%と割合が低い。



### ■年齢別 地域活動の情報を得る手段

- ・広報誌、回覧板は全体の割合が高い手段だが、年齢が低くなると極端に割合が下がっている。
- ・「地域で活動している人から」も、年齢が低くなるにつれ割合が下がる。
- ・ホームページ、メールマガジン、SNS等ネットを介した手段は、年齢が低い層の割合が高い。
- ・また「親族や近隣の知人・友人」も29歳以下の世代が最も高く、年齢層が高くなるにつれ割合は低くなっている。

		問30 地域活動の情報を得る手段（複数回答可）											
		合計	広報よこはま保土ヶ谷区版等の広報誌	地域情報を扱うタウン誌、フリーペーパー	ホームページ、メールマガジン	ツイッターやフェイスブックなどのSNS	地域で活動している人から	親族や近隣の知人・友人から	地域ケアプラザや区社会福祉協議会、区役所の窓口等	自治会町内会の回覧板	地域の掲示板	その他	無回答
全体		1,794	58.8%	14.6%	4.9%	2.5%	7.7%	9.9%	4.1%	57.9%	21.2%	2.3%	6.8%
F1 年齢 (10歳刻み)	29歳以下	141	21.3%	13.5%	9.9%	12.8%	3.5%	20.6%	1.4%	26.2%	24.8%	6.4%	6.4%
	30歳～39歳	201	39.8%	14.9%	11.4%	6.0%	5.5%	16.4%	6.0%	41.8%	25.4%	3.0%	6.5%
	40歳～49歳	279	53.0%	20.1%	7.2%	2.9%	6.8%	10.8%	0.7%	49.5%	18.3%	1.8%	7.2%
	50歳～59歳	301	62.8%	15.0%	4.0%	0.7%	5.3%	5.3%	2.0%	56.5%	18.3%	3.3%	5.3%
	60歳～69歳	321	67.0%	12.5%	2.8%	0.6%	8.1%	8.1%	5.0%	71.0%	22.4%	2.2%	4.7%
	70歳～79歳	357	74.8%	14.6%	2.2%	0.8%	11.5%	8.4%	7.0%	72.0%	21.8%	0.8%	5.9%
	80歳以上	183	67.8%	10.9%	1.1%	0.0%	11.5%	7.1%	6.0%	67.2%	21.3%	0.5%	10.9%